

松阪まちなか再生プラン

『食』を感じよう！ 『歴史』を温めよう！！

そして、『人の心』をつなげよう！！！！

～ *Feel food Heat history and Link love* ～



参 考 資 料

平成22年 3月

松 阪 市



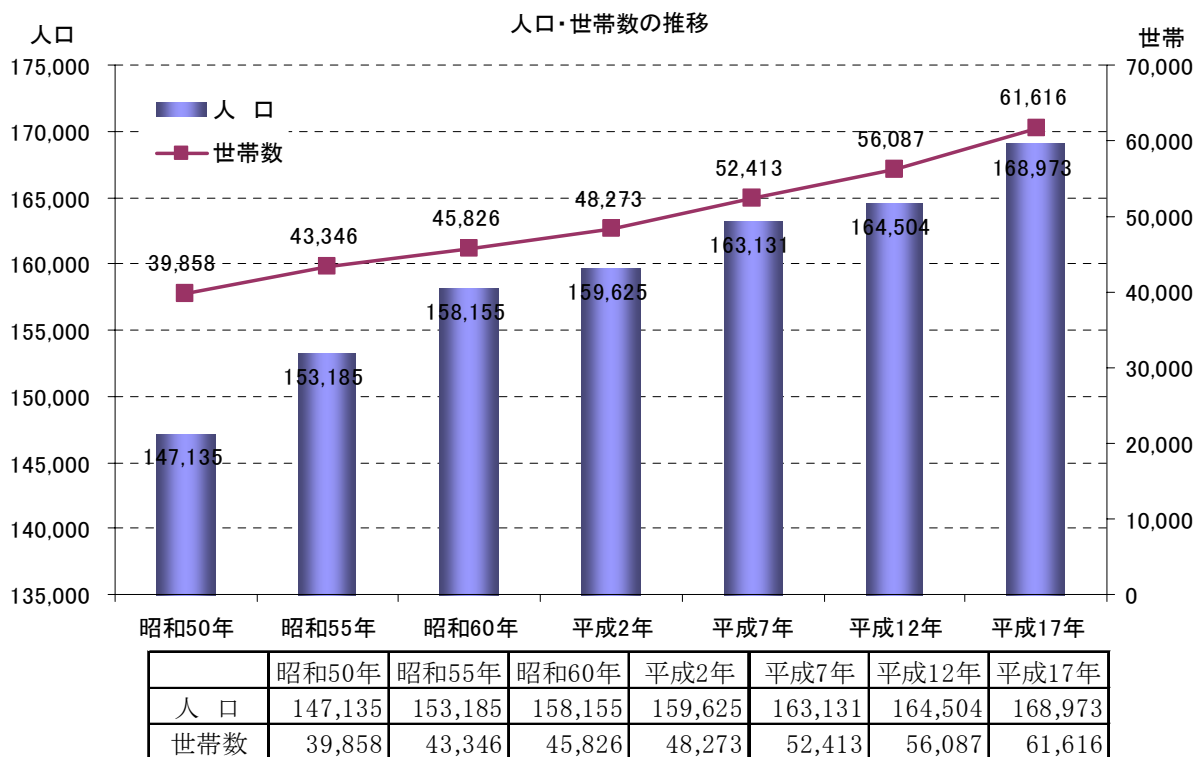
目 次

1	中心市街地の現状	1
	人口	1
	空き店舗	3
	観光	5
	鉄道・バス	6
	歩行者	7
	公共・公益施設	8
2	中心市街地活性化市民アンケート調査	10
	結果の総括	11
	回答の状況	15
	主要な自由意見の概要	26
3	中心市街地市民意見聴取会	29
	第1回中心市街地市民意見聴取会	29
	第2回中心市街地市民意見聴取会	30
	第3回中心市街地市民意見聴取会	31

1 中心市街地の現状

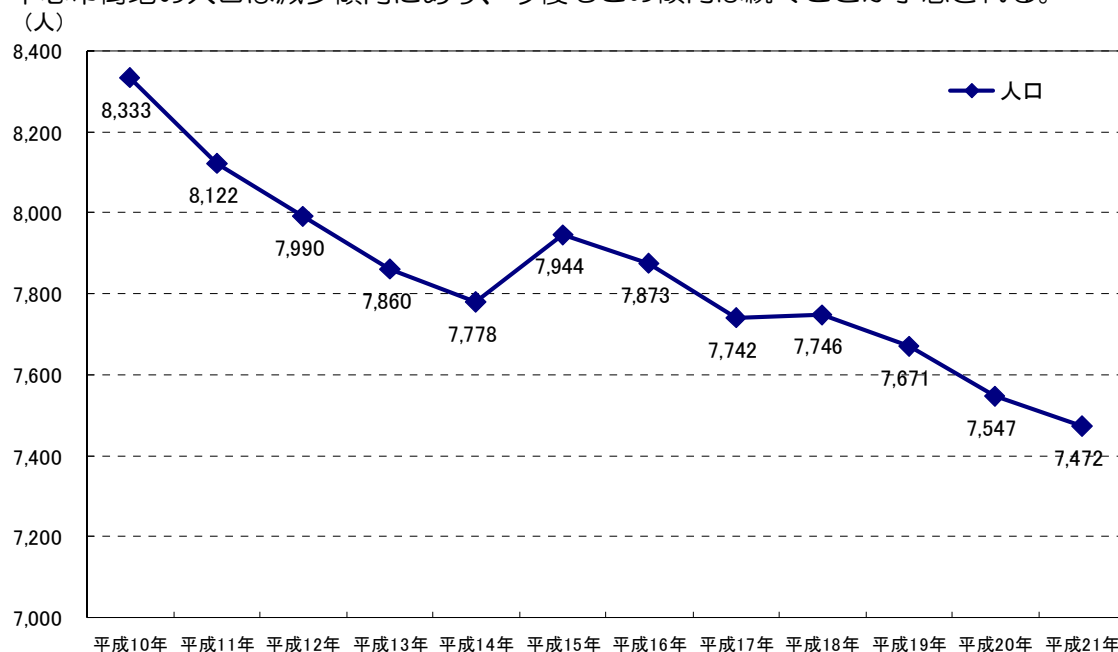
(1) 人口

市全体としては、人口及び世帯数は微増している。



平成 12 年以前の人口・世帯は、合併（平成 17 年 1 月 1 日）前の松阪市、嬉野町、三雲町、飯南町、飯高町の人口を合計したもの。資料：国勢調査（各調査年）

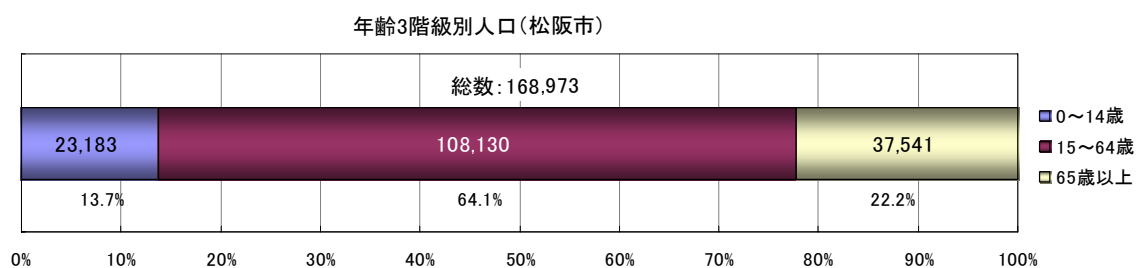
中心市街地の人口は減少傾向にあり、今後もこの傾向は続くことが予想される。



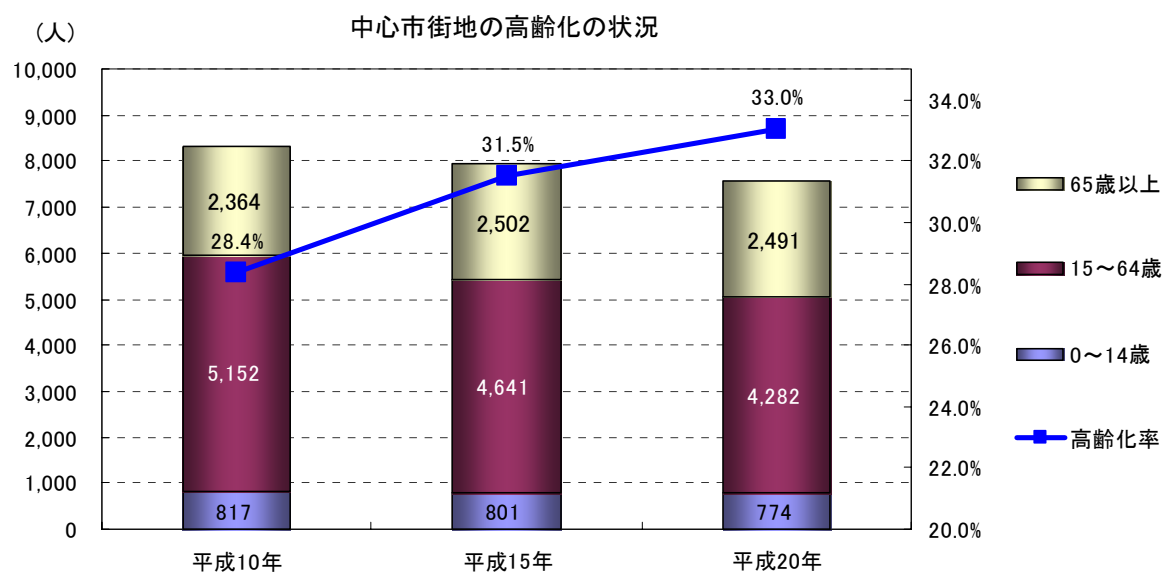
平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年
8,333	8,122	7,990	7,860	7,778	7,944	7,873	7,742	7,746	7,671	7,547	7,472

資料：住民基本台帳（各年 4 月 1 日現在）

高齢者の割合は市全体で増加しており、特に中心市街地で高齢化が進んでいる。



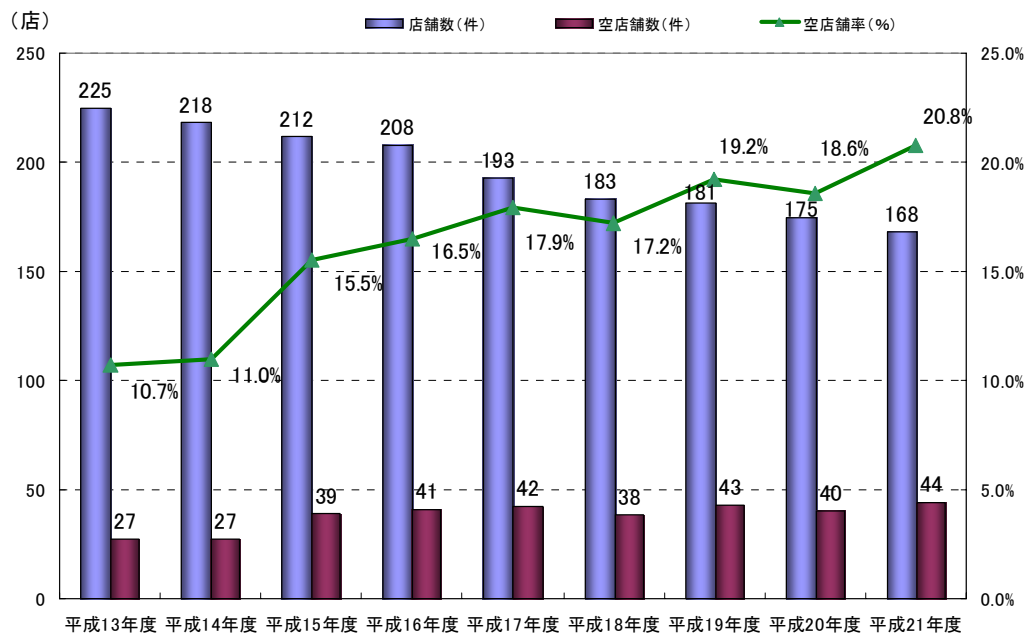
注) 総数には「不詳」を含むため内訳の合計とは一致しない。 資料：平成 17 年国勢調査



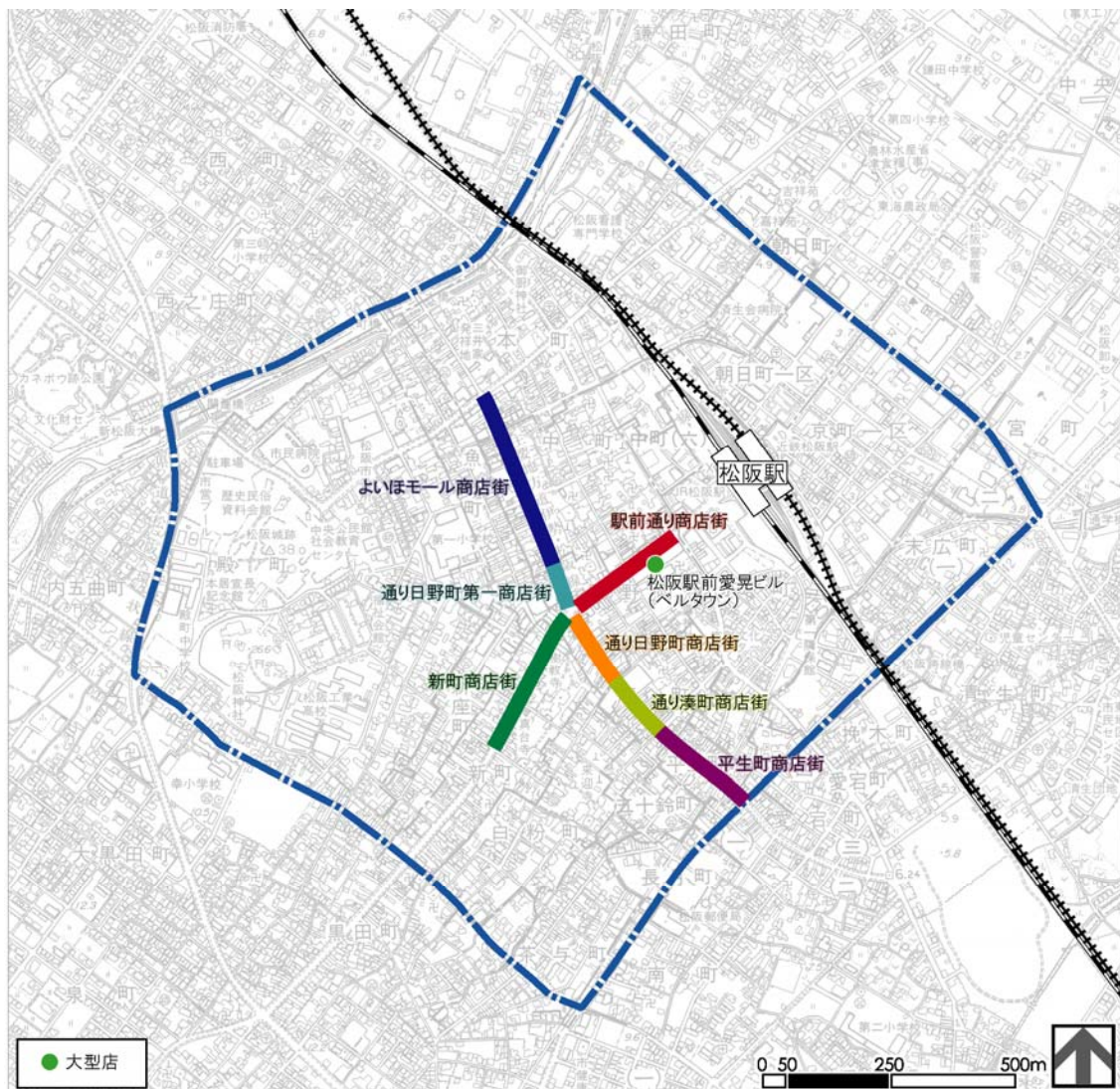
資料：松阪市世帯人口調査表(各調査年)

(2) 空き店舗

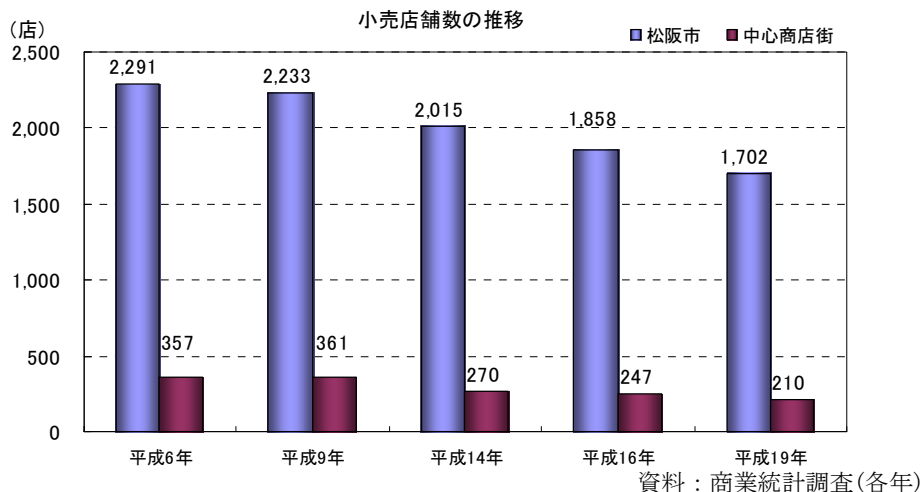
中心商店街（7 商店街振興組合）の店舗数が減少している一方で、空き店舗数は増加している。



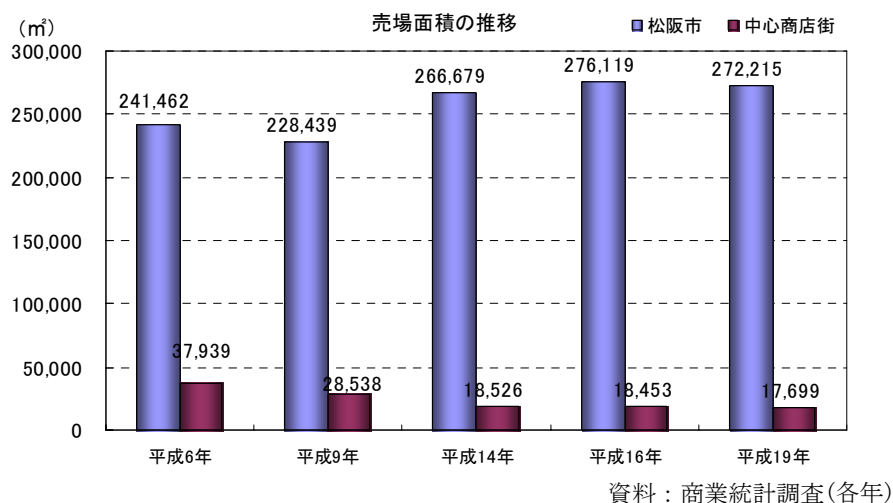
資料：松阪市商店街連合会調査（各年）



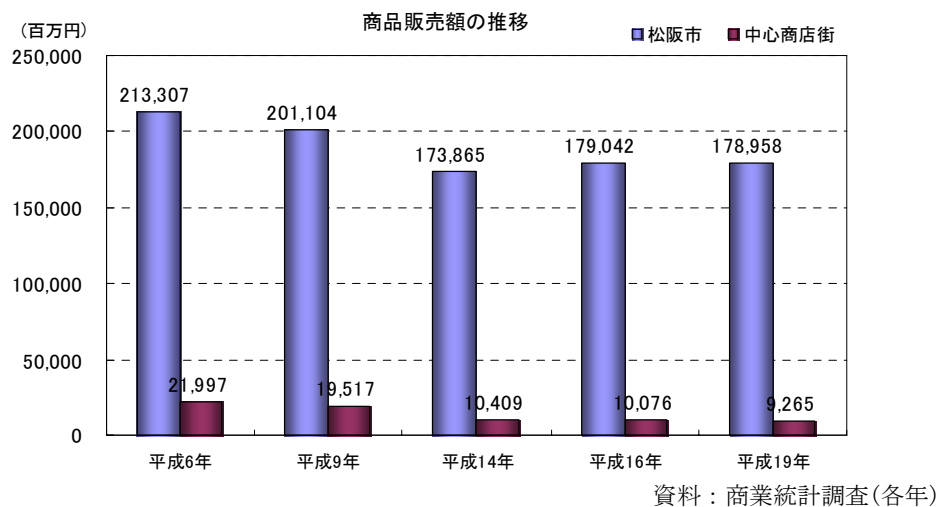
中心商店街の小売店舗数は減少が続き、減少の割合は本市全体より高くなっている。



中心商店街の小売面積は減少が続き、約1/2（H19/H6比）になっている。

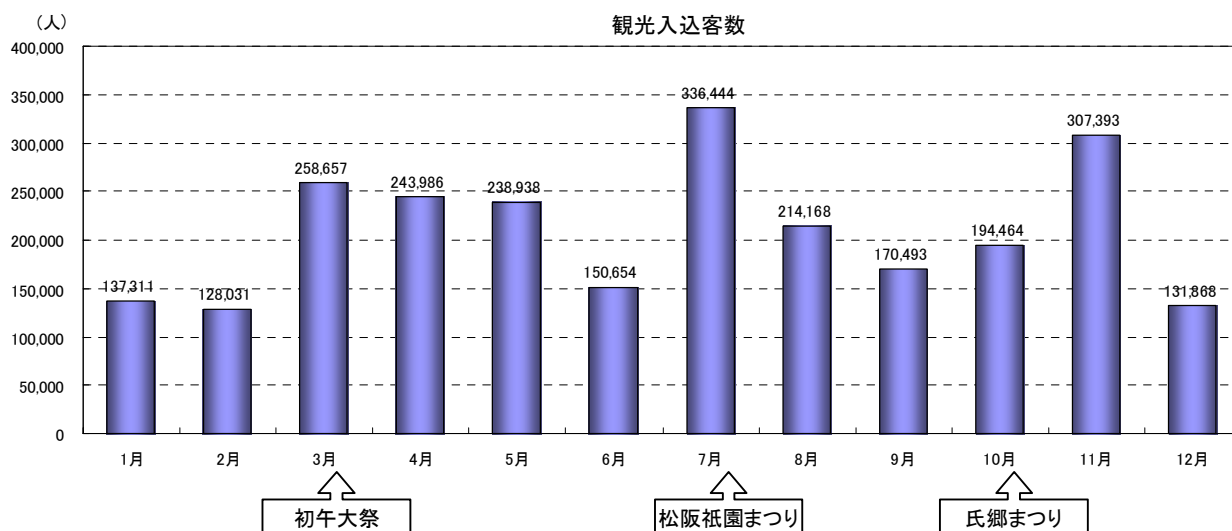


中心商店街の小売販売額は減少が続き、約1/2（H19/H6比）になっている。



(3) 観光

季節行事が開催される月以外でも、行楽シーズンには本市の観光入込客数が多くなっている。



資料：観光入込客数調査(平成20年)

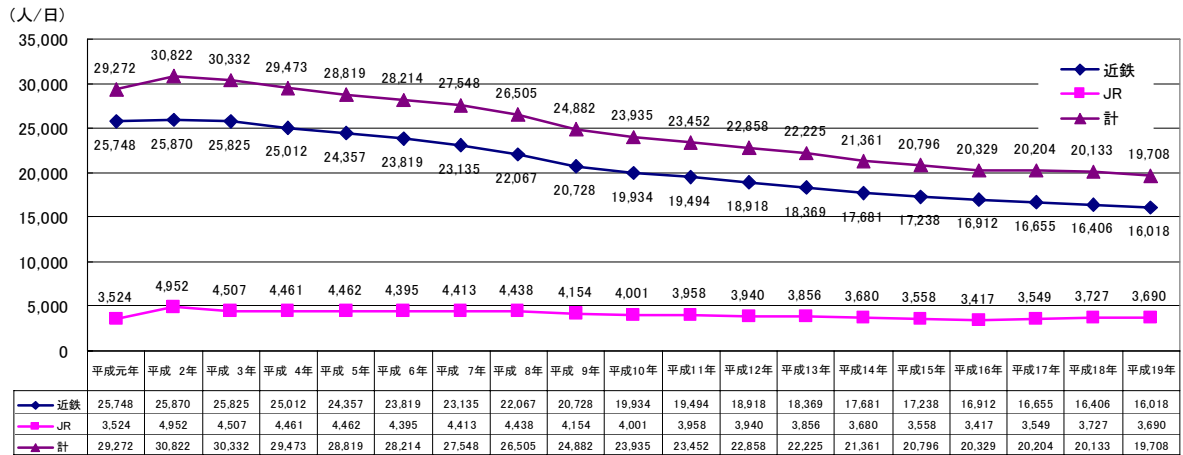
中心市街地内の観光地点別観光入込客数は、施設やまつりで概ね年々増加傾向にある。

観光地点名		平成15年		平成16年		平成17年		平成18年		平成19年		平成20年	
		入込数 (人)	H15年比	入込数 (人)	H15年比	入込数 (人)	H15年比	入込数 (人)	H15年比	入込数 (人)	H15年比	入込数 (人)	H15年比
中心市街地内	施設												
	松阪商人の館	13,822	100.0%	14,622	105.8%	13,701	99.1%	15,183	109.8%	17,514	126.7%	18,152	131.3%
	歴史民族資料館	13,349	100.0%	14,379	107.7%	14,055	105.3%	14,036	105.1%	14,714	110.2%	14,968	112.1%
	本居宣長記念館	26,451	100.0%	26,699	100.9%	27,076	102.4%	28,006	105.9%	26,927	101.8%	27,229	102.9%
	御城番屋敷	21,344	100.0%	21,645	101.4%	25,965	121.7%	27,114	127.0%	29,059	136.1%	27,940	130.9%
	松阪公園	105,300	100.0%	44,078	41.9%	80,680	76.6%	58,027	55.1%	57,985	55.1%	68,215	64.8%
	岡寺山継松寺	132,000	100.0%	19,382	14.7%	117,200	88.8%	123,100	93.3%	125,300	94.9%	130,300	98.7%
	小計	312,266	100.0%	140,805	45.1%	278,677	89.2%	265,466	85.0%	271,499	86.9%	286,804	91.8%
	まつり												
	松阪祇園まつり	85,000	100.0%	105,000	123.5%	135,000	158.8%	140,000	164.7%	35,000	41.2%	150,000	176.5%
中心市街地内	氏郷まつり	50,000	100.0%	100,000	200.0%	100,000	200.0%	110,000	220.0%	125,000	250.0%	125,000	250.0%
	小計	135,000	100.0%	205,000	151.9%	235,000	174.1%	250,000	185.2%	160,000	118.5%	275,000	203.7%
	中心市街地内計	447,266	100.0%	345,805	77.3%	513,677	114.8%	515,466	115.2%	431,499	96.5%	561,804	125.6%
松阪市 全体		1,572,921	100.0%	2,259,248	143.6%	2,428,683	154.4%	2,407,598	153.1%	2,375,535	151.0%	2,512,407	159.7%

資料：観光入込客数調査(各年)

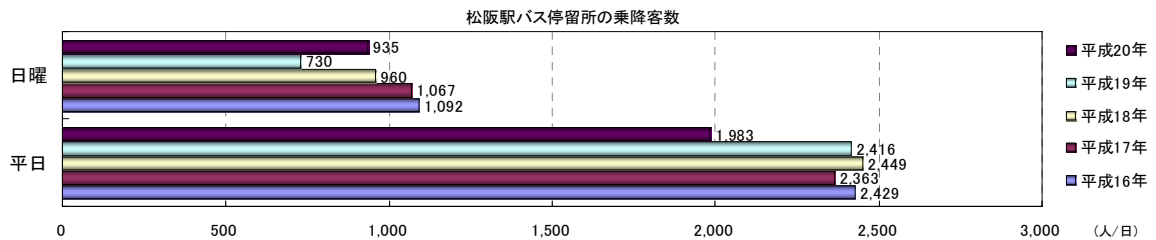
(4) 鉄道・バス

松阪駅全体の乗降客数は年々減少しているが、ＪＲ乗降客数については、ほぼ横ばい状態である。



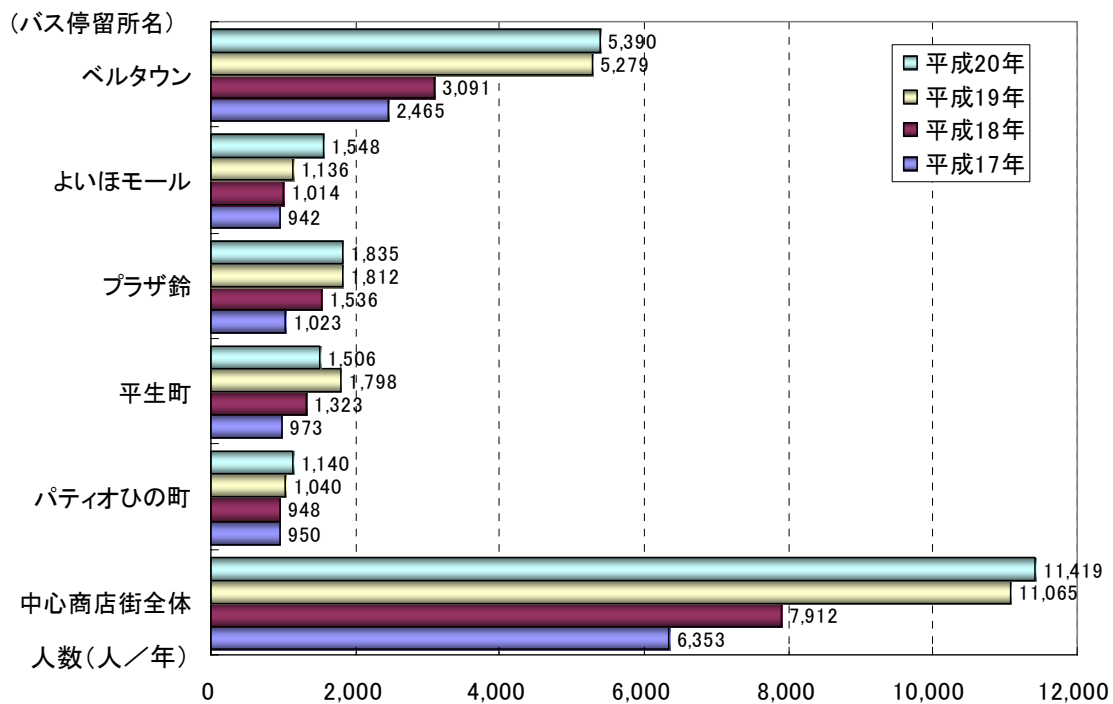
※一日当たり乗降客数は {年間乗客数÷(365×2)} により算出
資料：ＪＲ・近鉄資料(各年)

松阪駅バス停留所の乗降客数は、平日は減少傾向にあるが、休日は平成20年にやや回復した。



資料：三重交通

鈴の音バスの中心商店街内停留所の乗降客数は、年々増加している。



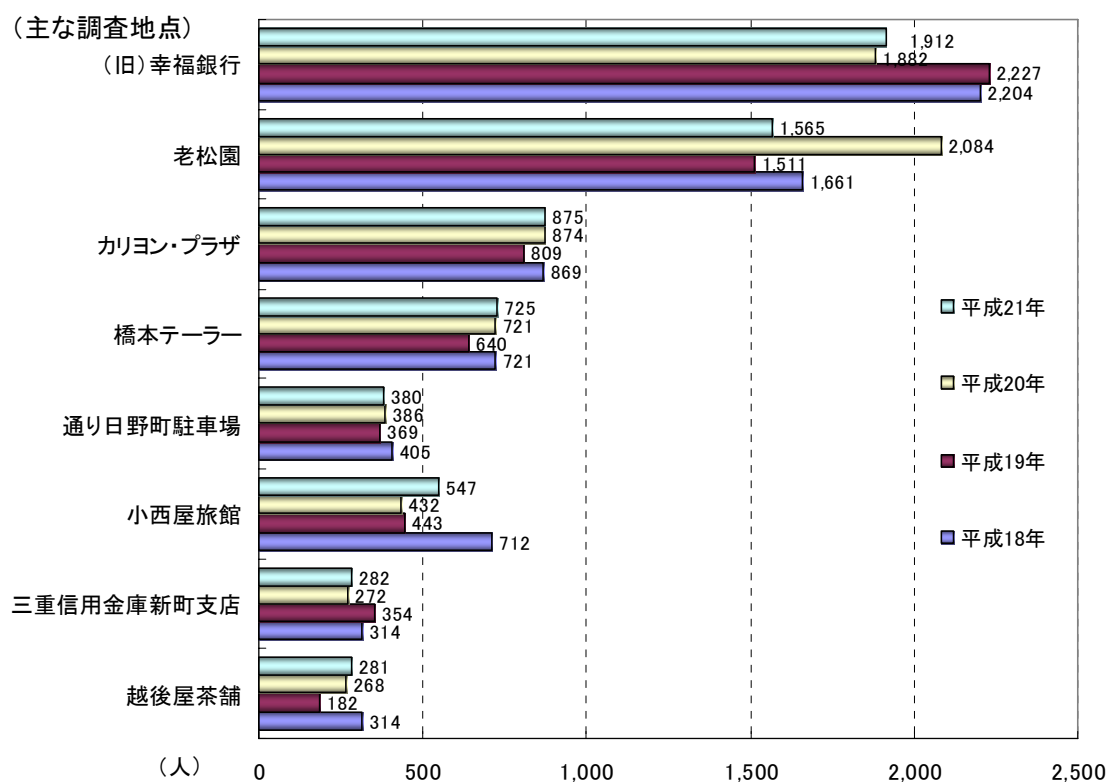
資料：三重交通

(5) 歩行者

中心市街地における歩行者通行量は、年々減少傾向にある。



資料：松阪市



資料：松阪市

(6) 公共・公益施設

中心市街地には多くの公共・公益施設が立地しており、行政や市民活動の中心となっている。

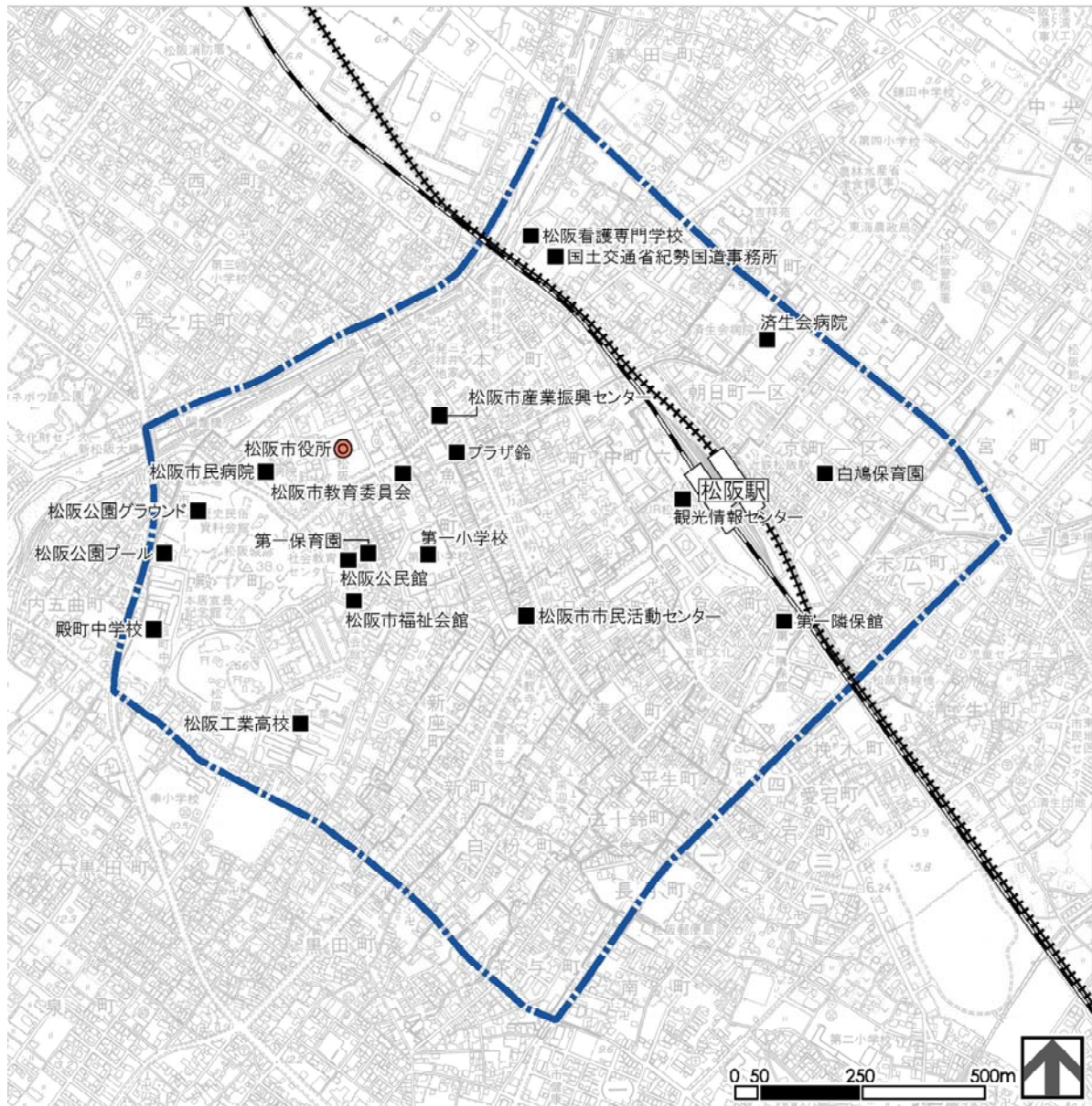
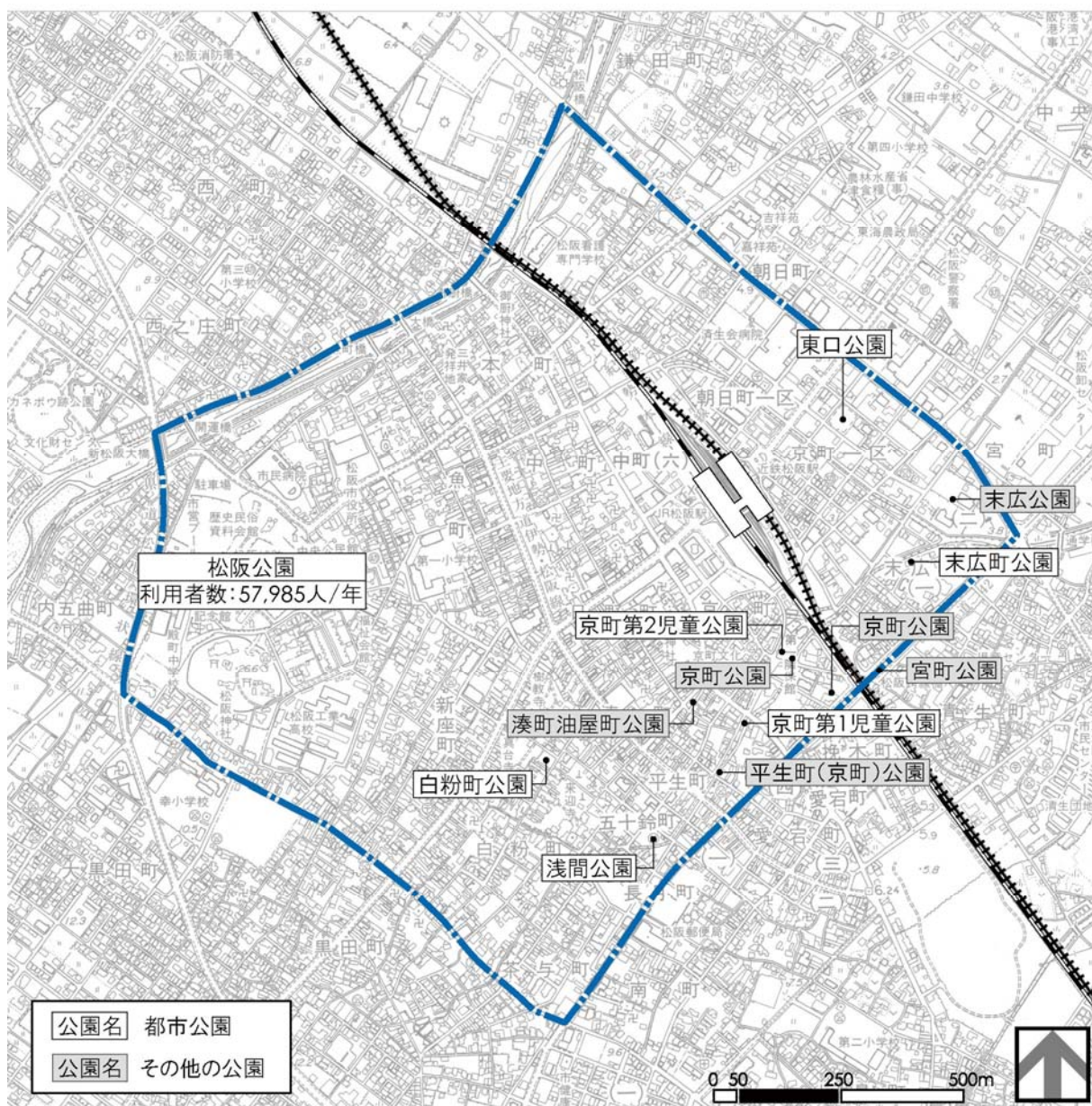


図 中心市街地における公共・公益施設の分布図



利用者は松阪市商工観光課調べ(平成19年度)

図 中心市街地における公園の分布図

2 中心市街地活性化市民アンケート調査

◎ 調査の目的

本調査は、松阪駅を中心とした中心市街地のまちづくりのあり方について、市民の皆様の考えや思いを聞き、中心市街地活性化や松阪駅周辺の整備計画を検討するための基礎資料として実施した。

◎ 調査方法

(1) 調査対象者

- ・ 松阪市内に居住する 18 歳以上の男女
- ・ 調査対象者数：3,000 人
- ・ 抽出方法：平成 21 年 8 月 1 日現在、住民基本台帳より無作為抽出した。

(2) 調査の内容

- ・ 「中心市街地」について
- ・ 「中心商店街」について
- ・ 「松阪駅西地区市街地再開発事業」について

(3) 調査方法

- ・ 郵送配布・郵送回収

(4) 調査期間

- ・ 平成 21 年 9 月 7 日(月)～10 月 5 日(月)

◎ 回収結果

- ・ 配布数：2,983 通 {発送数(3,000 通)－未着数(17 通)}
- ・ 回収数：1,275 通
- ・ 回収率：42.7% {1,275 通÷2,983 通÷42.7%}

◎ 回答者の属性

- ・ 回答者の性別は、男性が 44.5%、女性が 55.1%、無回答が 0.4%となっている。
- ・ 年代構成は、50 代が 24.6%と最も多く、続いて 40 代が 19.8%、30 代が 16.7%、60 代が 14.4%、70 代以上が 11.7%、20 代が 11.3%、10 代が 1.3%となっている。
- ・ 回答者の居住地区は、本庁管内中心市街地外の方が 68.4%、続いて嬉野管内 12.8%、三雲管内 6.4%、本庁管内中心市街地 3.7%、飯高管内 3.7%、飯南管内 3.2%となっている。

結 果 の 総 括

1. 「中心市街地」について

松阪市の中心市街地に「松阪駅を中心とする松阪駅周辺」をイメージする方が約 7 割を占めているが、中心市街地の現状は、車で行くのが不便であると約 7 割の方が回答し、楽しくない、魅力がない、活気がないと感じる方が約 8 割となっている。一方、中心市街地の活性化に取り組む必要があると回答された方は約 7 割あり、「松阪の顔として賑わいのある中心市街地」、「商業の拠点として活力のある中心市街地」を望む回答が合せて約 9 割であった。

問 4 中心市街地のイメージ

- ・「松阪駅を中心とする松阪駅周辺」が 67.2%と最も多く、「市民文化会館・パワーセンター松阪のある川井町周辺」7.2%、「アピタ・松阪マームのある松ヶ崎駅周辺」6.0%、「サンパークや商業店舗が建ち並ぶ大黒田町周辺」2.4%と続いている。

問 5 中心市街地はどうあるべきか

- ・「松阪の顔として賑わいのある中心市街地」の 59.8%が最も多く、「商業の拠点として活力のある中心市街地」29.2%、「歴史・文化が蓄積する中心市街地」16.8%、「交通の要衝としての中心市街地」14.3%、「閑静な居住空間を有する中心市街地」1.4%と続いている。

問 6 松阪駅を中心とした市街地の現状

①店や商店街が楽しいか？

- ・「楽しい」2.5%、「楽しくない」74.8%となっている。

②安心して歩けるか？

- ・「歩ける」が 39.6%、「歩けない」が 21.4%となっている。

③車で行くのが便利か？

- ・「便利」が 12.5%、「便利でない」が 70.5%となっている。

④魅力があるか？

- ・魅力が「ある」は 2.3%、「ない」は 81.7%となっている。

⑤活気があるか？

- ・活気が「ある」は 0.6%、「ない」は 88.7%となっている。

⑥愛着があるか？

- ・愛着が「ある」が 31.1%、「ない」が 40.2%となっている。

問 7 松阪駅を中心とした市街地には、今後どのような「まちづくり」が必要か

①人口増加について

- ・「住みやすい環境づくり（まちづくり）を進めて居住を促す」（53.4%）が最も多く、「街の屋間の人口を増やすようにオフィスビルや事業所の立地を促す」（36.5%）と続いている。

②商業について

- ・「飲食店、レストラン等みんなが楽しく集えるような店を増やす」（58.6%）と最も多く、「大型のショッピングセンターを松阪駅周辺に誘致する」（41.7%）、「身近な日用品を扱うような商店街や商業施設の充実を図る」（34.5%）と続いている。

③施設整備について

- ・「公園・駅前広場・緑地を整備する」が54.2%と最も多く、「市民が自由に利用することが出来る多目的ホールを整備する」（31.3%）、「保健・スポーツ・健康施設を整備する」（24.7%）と続いている。

④生活環境整備について

- ・「駐車場や建物周りの緑を増やし、潤いに満ちたまちづくりを進める」（46.4%）と、「松阪の歴史文化を活用した町のデザインや観光スポット整備を進行」（46.3%）が多くなっている。

問 8 松阪駅を中心とした市街地の活性化に取り組む必要性について

- ・「必要と思う」71.5%、「必要と思わない」が10.9%となっている。

問 9 中心市街地を活性化する必要がない理由

- ・問 8 で「必要と思わない」と回答された方の理由としては、「他の部門（福祉・教育等）の事業を優先すべきである」が40.3%と最も多くなっている。次いで「中心市街地だけ力を入れるのは不公平である」が30.2%、「今のままで十分である」は7.9%となっている。

2. 「中心商店街」について

中心商店街の印象について「さみしい」と感じられている方が約7割あり、「ほとんど行かない」または「まったく行かない」と回答された方も約7割となっている。また、中心商店街に行かない最大の理由は「大型ショッピングセンターに買い物に行く」と回答された方多かった。一方、中心商店街に求めるものとしては、「飲食店・レストラン」、「産地直送・直売店」、「趣味専門性の高い店」を挙げる方が多かった。

問 10 現在の中心商店街の印象について

- ・「親しみやすい」「祭り・イベント等があり楽しい」を合わせて1割程度となっており、「さみしい」が73.6%と最も多くなっている。

問 11 中心商店街へ行く頻度

- ・ 中心商店街へ「ほとんど毎日行く」（2.3%）、「時々行く」（25.0%）を合すると 27.3%、「ほとんど行かない」（54.4%）、「まったく行かない」（17.1%）を合すると 71.5%となっている。

問 12 中心商店街へ行く目的

- ・ 問 11 で「ほとんど毎日行く」または「時々行く」と回答された方の主な目的は、「食品・雑貨等の日常の買物」（41.4%）が最も多く、「銀行・病院等」（38.5%）、「食事・レジャー」（27.9%）、「洋服等の買物」（16.4%）の順となっている。最も主要なものは「食品・雑貨等の日常の買物」（9.8%）となっている。

問 13 魅力ある商店街について

- ・ 問 11 で「ほとんど毎日行く」または「時々行く」と回答された方が望まれる魅力ある商店街とは、「近くに駐車場がある」（56.3%）が最も多く、「店が入りやすい雰囲気である」（51.7%）、「品揃えが充実している」（50.3%）、「安くてよいものがある」（48.9%）の順となっている。

問 14 中心商店街を利用しない理由について

- ・ 問 11 で「ほとんど行かない」または「まったく行かない」と回答された方の理由としては、「大型ショッピングセンターに買い物に行く」（69.5%）が最も多く、「駐車場がない」（68.8%）、「品揃えが少ない（欲しいものが少ない）」（47.4%）、「人通りが少なく寂しい」（33.0%）の順となっている。

問 15 中心商店街に求めるもの（店舗、商品）

- ・ 問 11 で「ほとんど行かない」または「まったく行かない」と回答された方の要望としては、「飲食店、レストラン」の 51.5%がもっとも多く、「産地直送、直売店」（39.7%）、「趣味、専門性の高い店」（36.3%）、「ディスカウントショップ」（24.3%）、「生鮮食料品」（23.4%）の順となっている。

3. 「松阪駅西地区市街地再開発事業」について

「松阪駅西地区市街地再開発事業」については約 6 割の方が知っており、全体の約 5 割の方が必要性を感じている。必要な施設として商業施設を望む声が多かった。一方、事業は必要ないと回答された方も約 3 割あり、その理由としては、財政難の中、公費を投入することに対して否定する意見が多かった。

問 16 「松阪駅西地区市街地再開発事業」の認識について

- ・ 「よく知っている」（10.2%）または「少し知っている」（46.0%）と回答された方は 56.2%、「全く知らない」と回答された方は 41.4%となっている。

問 17 「松阪駅西地区市街地再開発事業」の区域における「市街地再開発事業」の必要性について

- ・「必要である」が 52.2%、「必要でない」が 26.6%となっている。

問 18 「松阪駅西地区市街地再開発事業」の区域における「市街地再開発事業」に必要な施設について

- ・問 17 で「必要である」と回答された方の要望としては、「商業施設」が 71.6%で最も多く、「娯楽・レジャー施設」41.9%、「文化交流施設」30.0%、「企業オフィス施設」28.8%、「医療施設」27.6%と続いている。

問 19 「松阪駅西地区市街地再開発事業」が必要でない理由

- ・問 17 で「必要でない」と回答された方の理由としては、「財政難の中、公費を投入する必要はない」（52.8%）が最も多く、『「松阪駅西地区市街地再開発事業区域」より「旧三交百貨店側」の整備をするべき』（21.8%）、『今の時代「ハコモノ」整備は必要ない』（15.9%）となっており、「駅前は現状のままでよい」は 3.2%となっている。

4. 自由意見

問 20 「中心市街地活性化」についての自由意見

アンケートにより 562 件の意見が寄せられ、下記カテゴリー分類される。

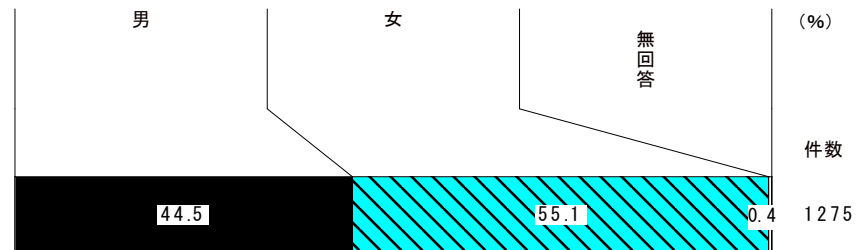
■意見の分類カテゴリー	意見数
(1)百貨店・大型商業施設を望む意見	86
(2)駐車場に関する意見	72
(3)名産や歴史等をアピールする意見	42
(4)行政に対する意見	40
(5)飲食店等が必要という意見	38
(6)バス等交通網に関する意見	32
(7)計画は無理、不要、無駄という意見	27
(8)箱物は不要という意見	24
(9)駅周辺以外の政策を望む意見	23
(10)開発以外の政策を望む意見	22
(11)公共施設や病院等が必要という意見	16
(12)道路の整備等に関する意見	15
(13)公園を望む意見	14
(14)商店街の経営者に関する意見	10
(15)駅前が暗くて危険を感じるという意見	5
(16)その他の意見	96
計	562

回答の状況

1. 回答者の属性

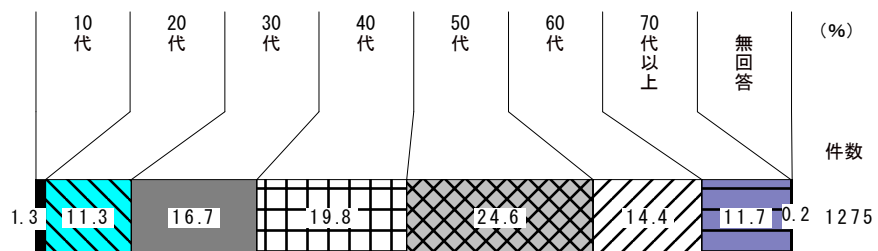
(1) 性別

問1 性別



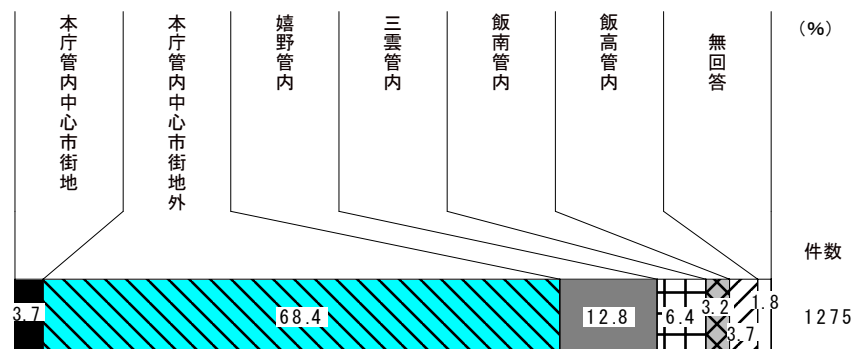
(2) 世代

問2 年齢



(3) 居住地区

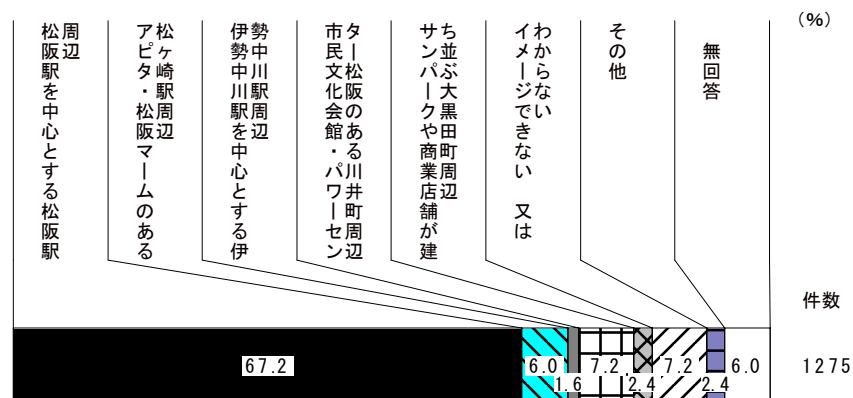
問3 地区別



2. 「中心市街地」について

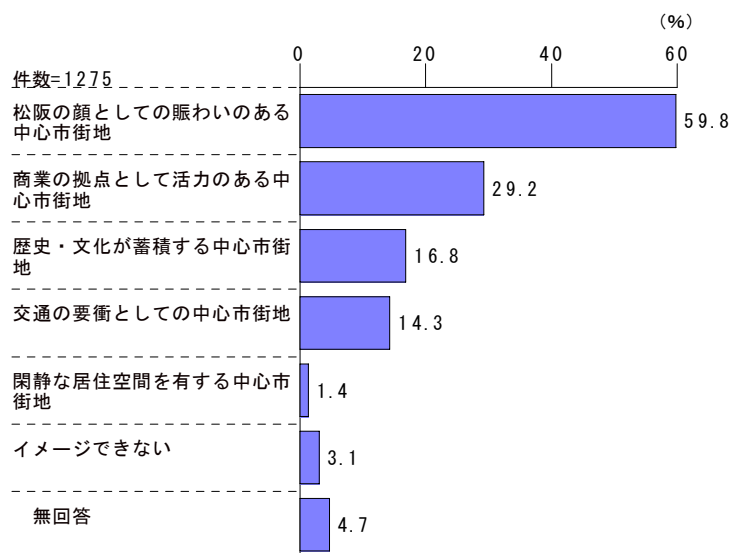
(1) 中心市街地のイメージ

問4 松阪市の中心市街地とは、どこをイメージされますか。



(2) 中心市街地はどうあるべきか

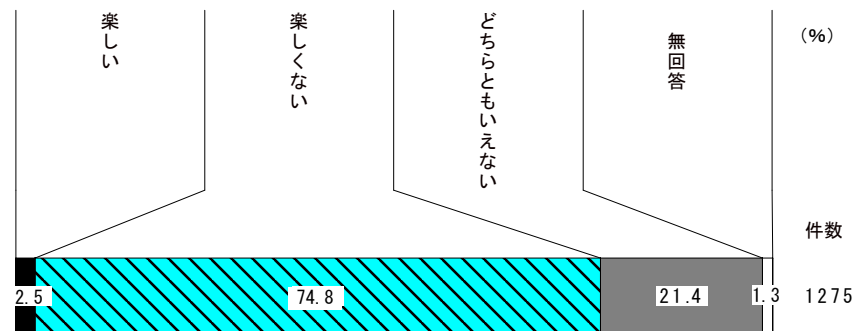
問5 中心市街地はどうあるべきだと思いますか。(複数選択可)



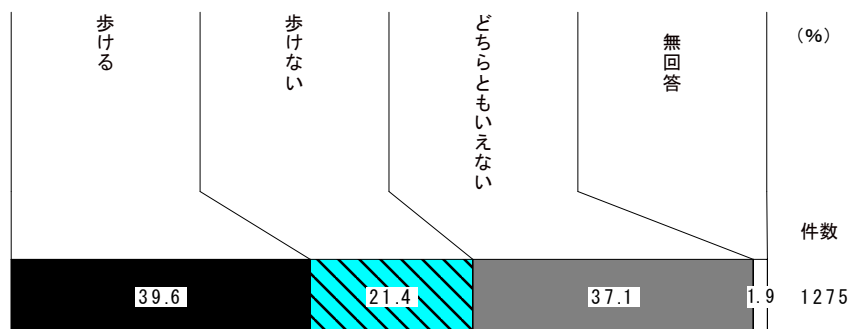
(3) 松阪駅を中心とした市街地の現状

問6 現在の松阪駅を中心とした市街地について、あなたはどのように感じておられますか。

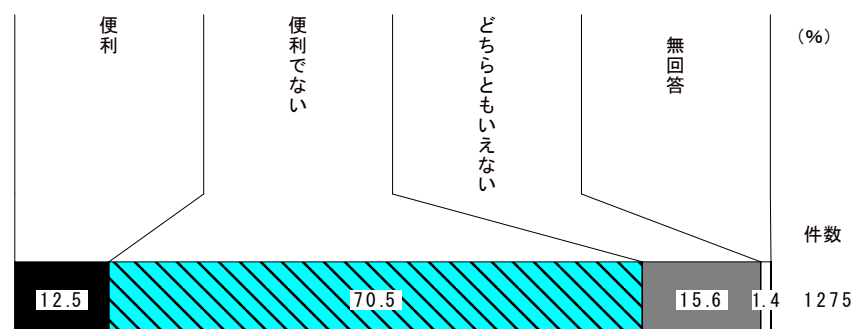
A. 店や商店街が楽しいか？



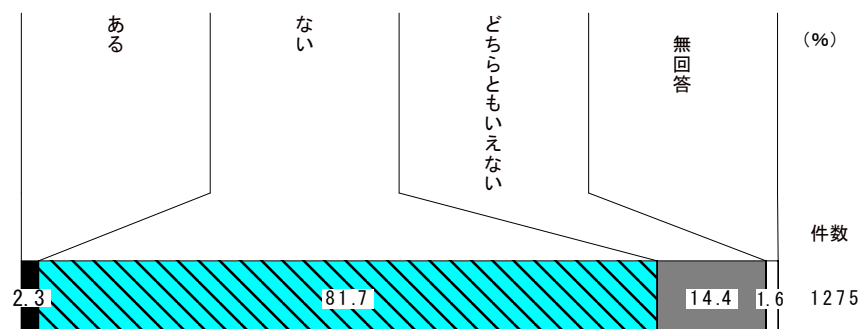
B. 安心して歩けるか？



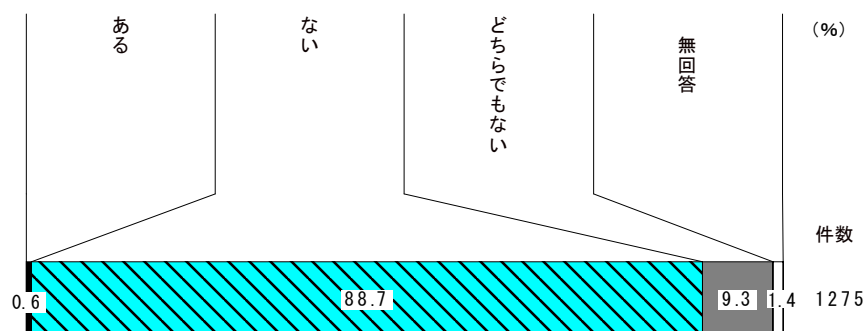
C. 車で行くのが便利か？



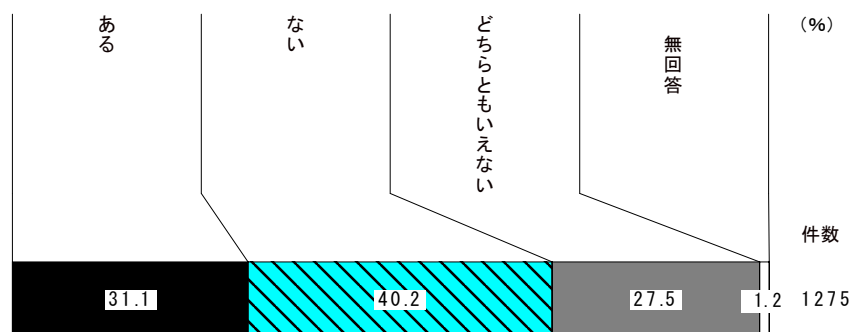
D. 魅力があるか？



E. 活気があるか？



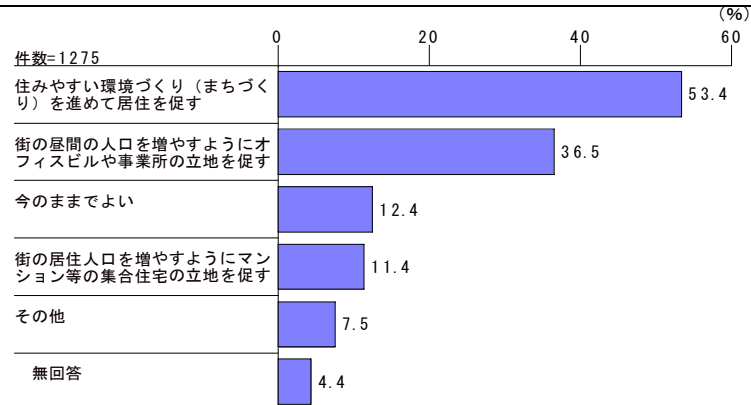
F. 愛着があるか？



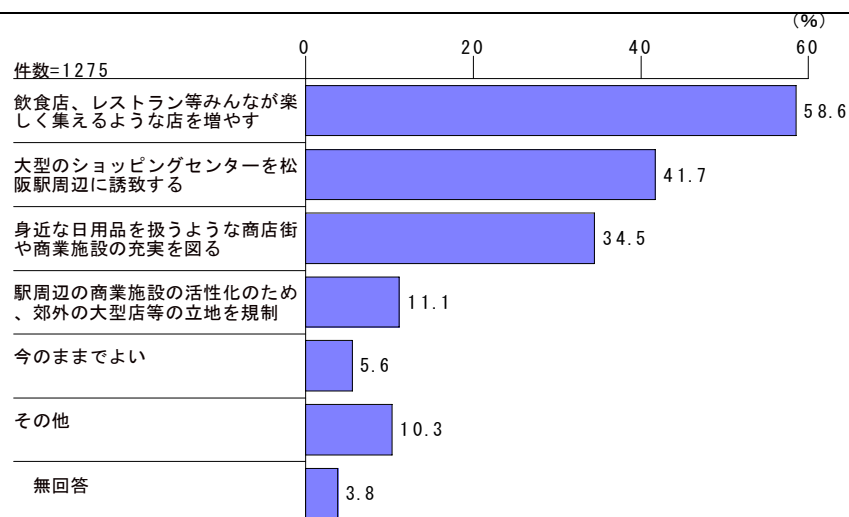
(4) 松阪駅を中心とした市街地には、今後どのような「まちづくり」が必要か

問7 松阪駅を中心とした市街地には、今後どのような「まちづくり」が必要だと思いますか。
(複数選択可)

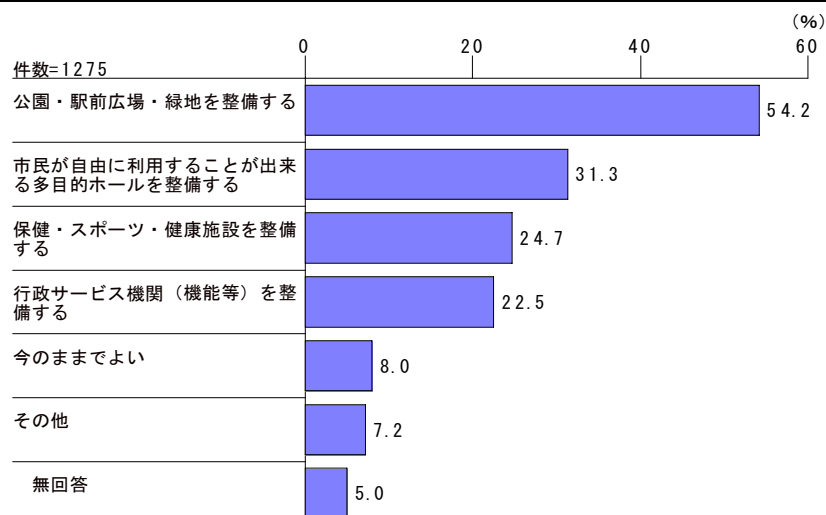
A. 人口増加について



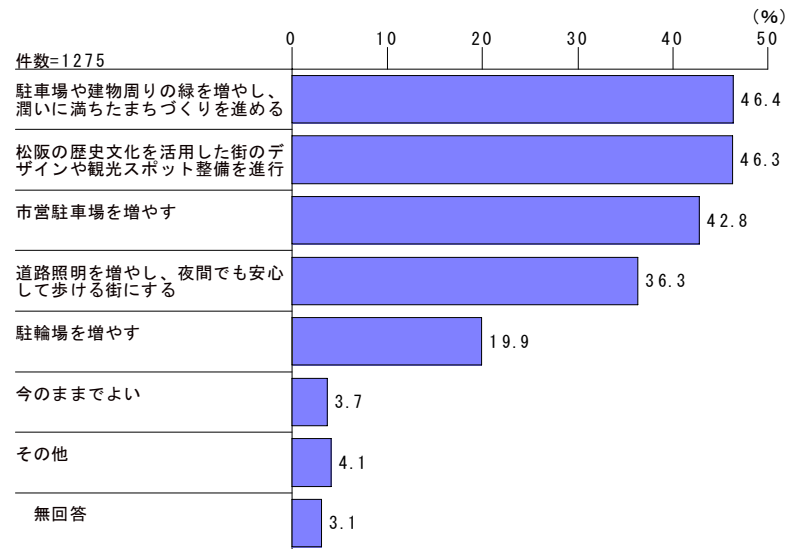
B. 商業について



C. 施設整備について

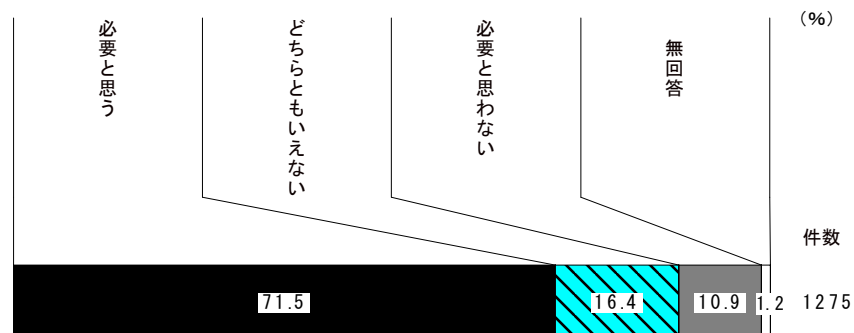


D. 生活環境整備について



(5) 松阪駅を中心とした市街地の活性化に取り組む必要性について

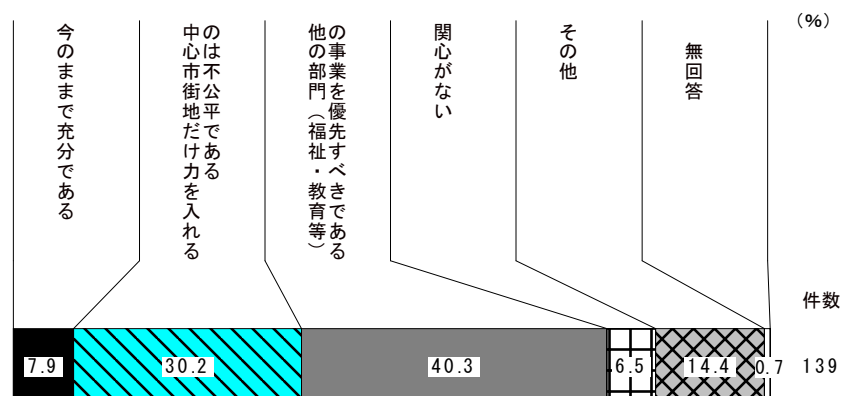
問8 今後、松阪駅を中心とした市街地の活性化に取り組む必要があると思いますか。



(6) 中心市街地を活性化する必要がない理由

問9 中心市街地を活性化する必要がない理由は、どのような理由からですか。

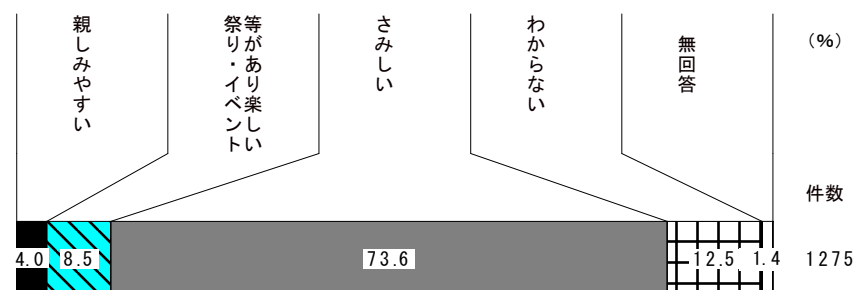
※問8で「必要としない」と回答された方の理由



3. 「中心商店街」について

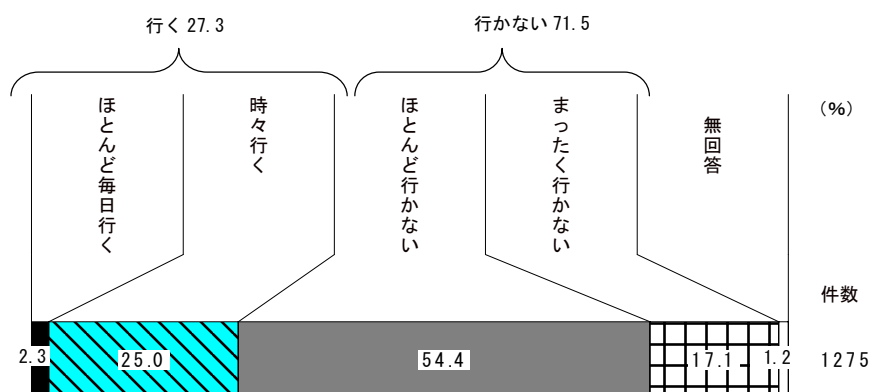
(1) 現在の中心商店街の印象について

問 10 現在の中心商店街の印象についてあなたはどのように感じておられますか。



(2) 中心商店街へ行く頻度

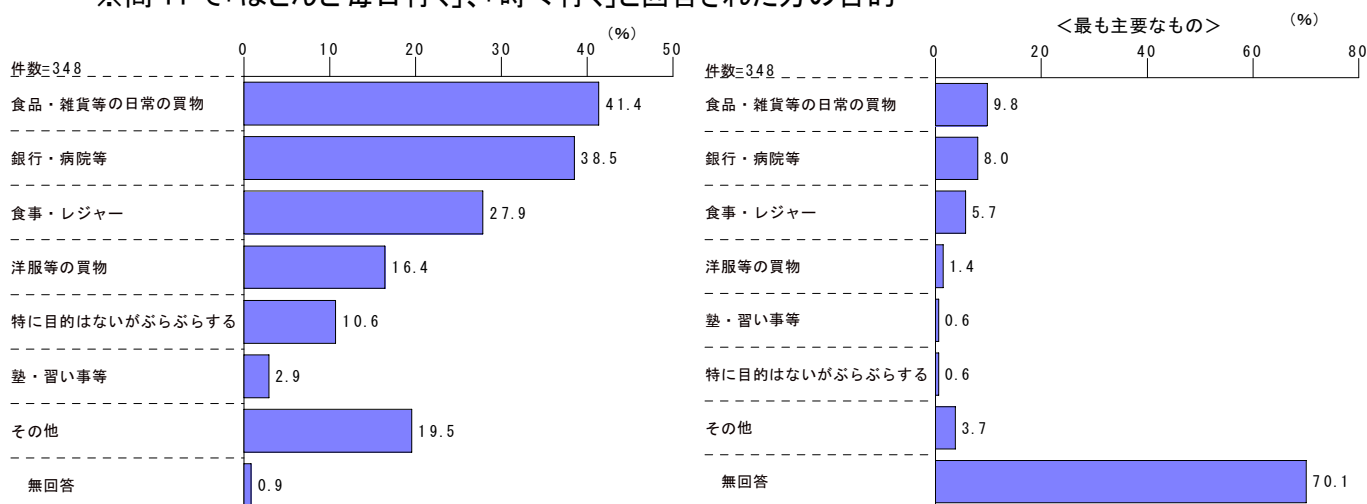
問 11 中心商店街へあなたはどの程度行かれますか。



(3) 中心商店街へ行く目的

問 12 中心商店街にはどのような目的で行かれますか。(複数選択可、最も主要なものに◎)

※問 11 で「ほとんど毎日行く」、「時々行く」と回答された方の目的

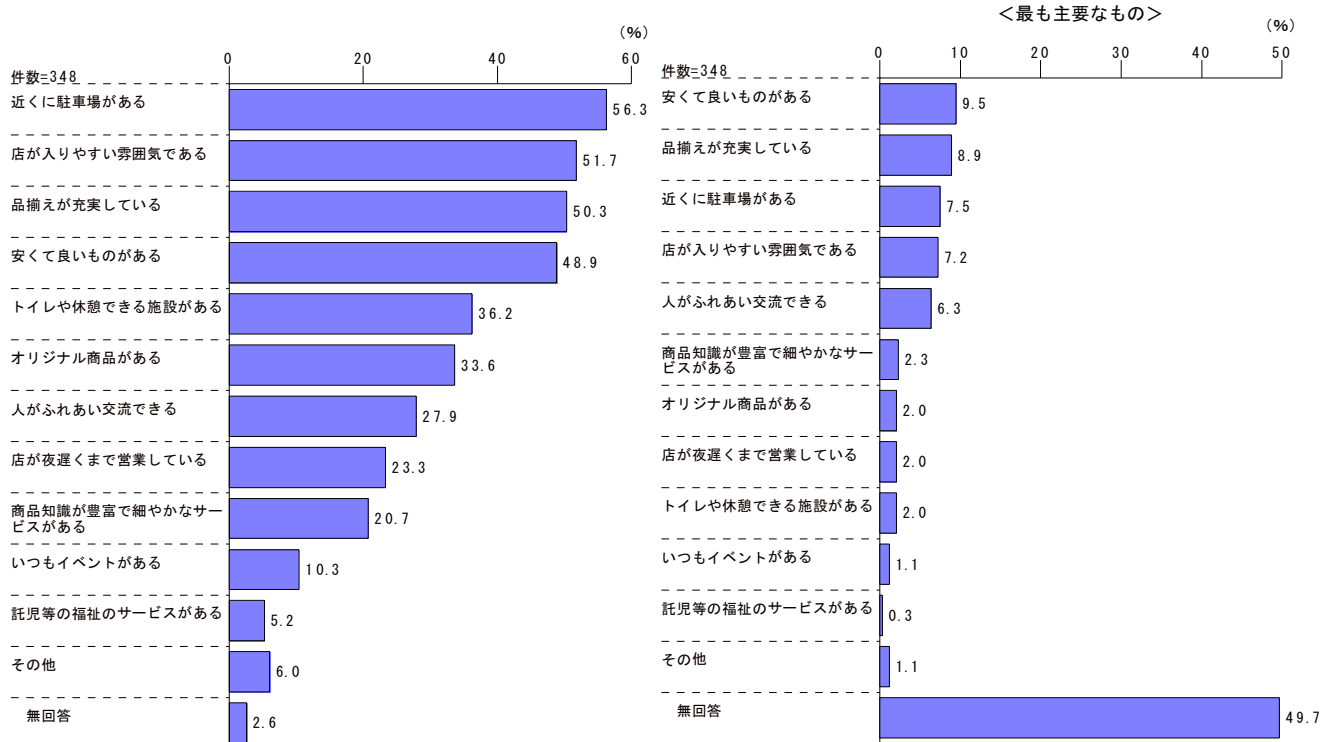


(4) 魅力ある商店街について

問 13 魅力ある商店街とはどのようなものとあなたは思われますか。

(複数選択可、最も主要なものに◎)

※問 11 で「ほとんど毎日行く」、「時々行く」と回答された方のイメージ

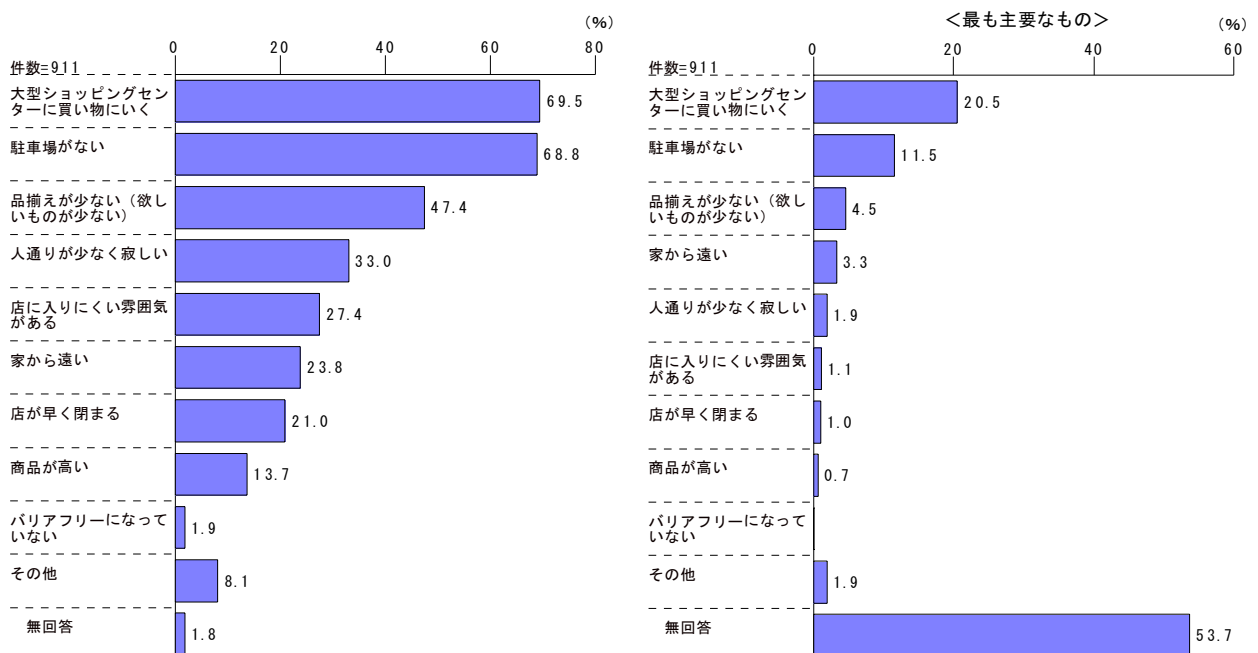


(5) 中心商店街を利用しない理由について

問 14 中心商店街を利用しない理由は、どのような理由からですか。

(複数選択可、最も主要なものに◎)

※問 11 で「ほとんど行かない」、「まったく行かない」と回答された方の理由

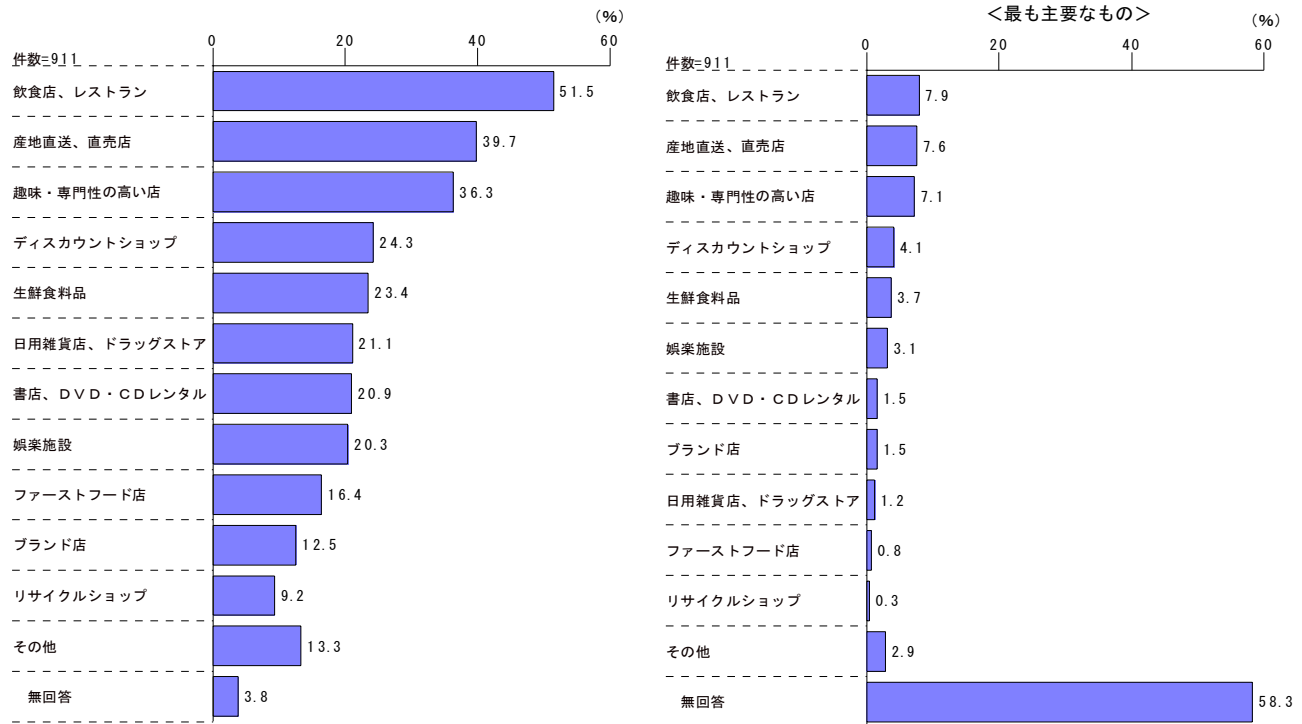


(6) 中心商店街に求めるもの（店舗、商品）

問 15 今後どのような店（商品）があれば中心商店街を利用しますか。

（複数選択可、最も主要なものに◎）

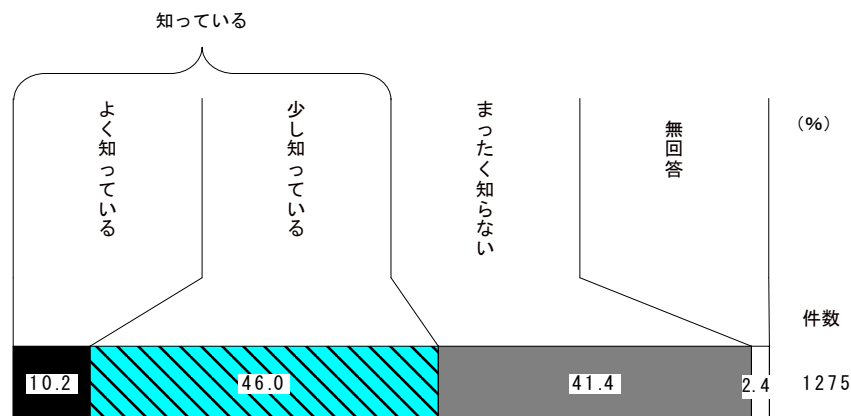
※問 11 で「ほとんど行かない」、「まったく行かない」と回答された方の要望



4. 「松阪駅西地区市街地再開発事業」について

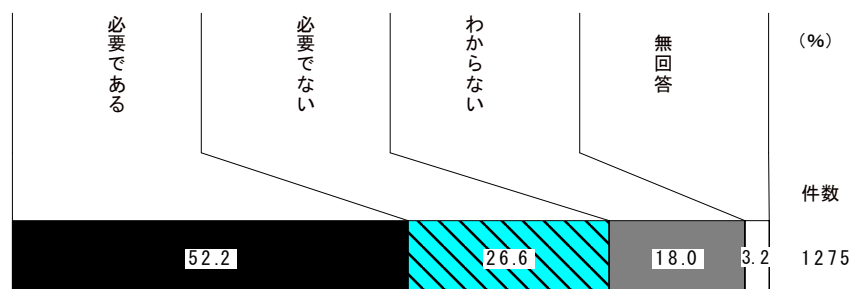
(1) 「松阪駅西地区市街地再開発事業」の認識について

問 16 あなたは、これまでJR松阪駅に進めてきた『松阪駅西地区市街地再開発事業』について、どの程度ご存知ですか。



(2) 「松阪駅西地区市街地再開発事業」の区域における「市街地再開発事業」の必要性について

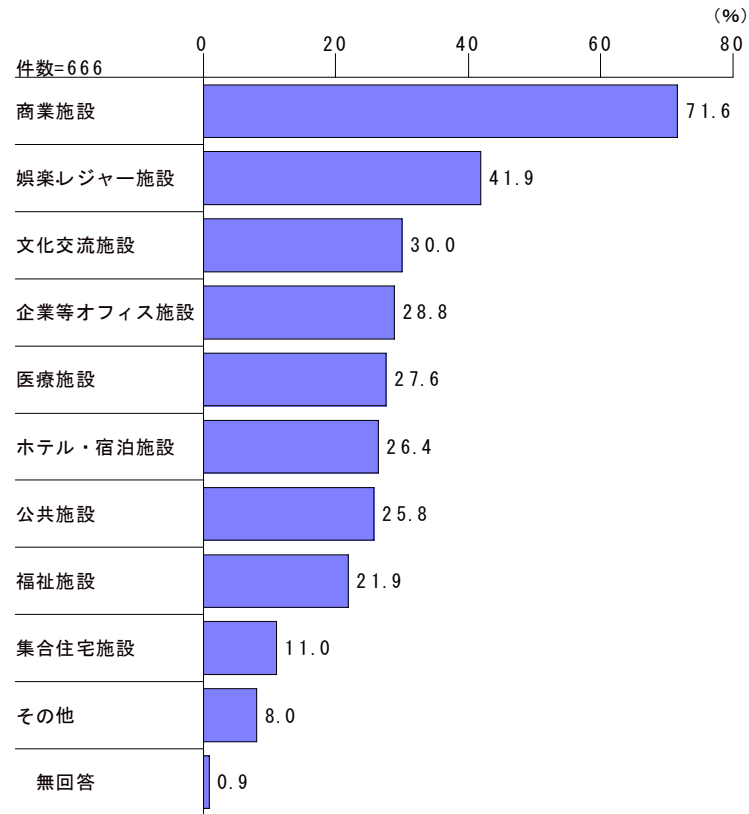
問 17 あなたは、「松阪駅西地区市街地再開発事業」の区域において、市街地再開発事業を行う必要があると思われますか。



(3) 「松阪駅西地区市街地再開発事業」の区域における「市街地再開発事業」に必要な施設について

問 18 「松阪駅西地区市街地再開発事業」の区域で行う、「市街地再開発事業」に必要な施設とは、どのような施設が必要だと思いますか。（複数選択可）

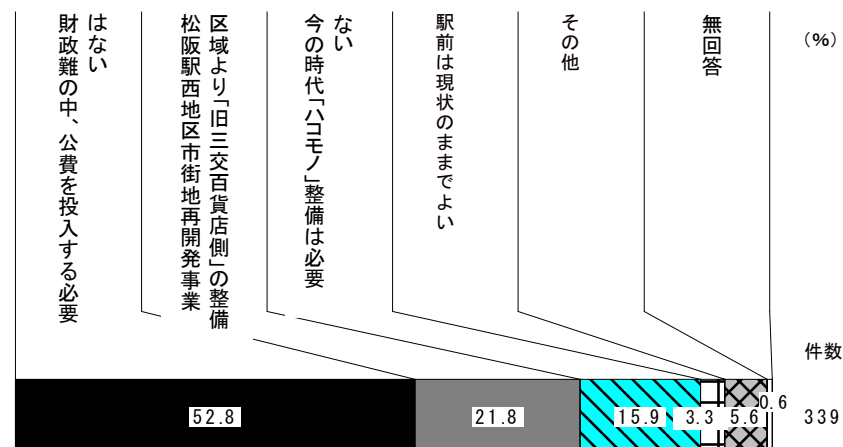
※問 17 で「必要である」と回答された方の要望



(4) 「松阪駅西地区市街地再開発事業」が必要でない理由

問 19 「松阪駅西地区市街再開発事業」が必要でない理由は、どのような理由からですか。

※問 17 で「必要でない」と回答された方の理由



主要な自由意見の概要

（１）百貨店・大型商業施設を望む意見（８６通）

- ・週末や、仕事の帰り道に寄れるような商業施設の開発を望みます。
- ・旧三交百貨店跡地に大型ショッピングセンターを開発して伊勢方面からの客の誘致に力を入れる。
- ・駅前に人を向かわせるようなショッピングセンターが必要と思う。
- ・人が集まる店舗なり企業を誘致できる施設を作り、とにかく人が集まらないと物もお金も集まらない。

（２）駐車場に関する意見（７２通）

- ・駐車場が無いため駅前に買い物にはいけないと思う。駐車場は絶対必要だと思う。
- ・現在は車社会であり広い駐車場（低料金）が必要だと思う。
- ・松阪駅は駐車場が少ないから、伊勢中川駅から乗車します。松阪駅周辺も駐車場を整備していただければ、もう少し賑やかになるのではないかと思います。
- ・今日の車社会では、日常生活で買い物するのに、まず車を駐車するところが必要です。

（３）名産や歴史等をアピールする意見（４２通）

- ・松阪の歴史や文化や伝統を大切にしつつ、明るくおしゃれで清潔感のある街並みになればもっと足を運ぶようになると思います。
- ・松阪は牛のイメージが強いですが、本居宣長、蒲生氏郷、氏郷祭り、松阪木綿などまだまだ魅力的な事が沢山あるのでアピールをどんどんしていただきたいです。
- ・松阪市には、松阪城、本居宣長をはじめ、歴史や文化等、誇れるもの（文化財）がたくさんあり、これらを活かしたまちづくりを望みます。

（４）行政に対する意見（４０通）

- ・私たち市民が安心し、これからの時代を生きていく子供達のことを考えた政策のほうがいいと思います。生きた税金の使い道にしていきたいです。
- ・市街地活性化も必要ですが市民の税金が平等に使用される様、松阪市全体の活性化を考えて下さい。
- ・「日本一高齢率の高い中心市街地だから日本一お年寄りに優しい街松阪」高齢社会と少子化の訪れる近未来に、高齢社会を恐れず受け入れた松阪市政を構築する必要性を感じます。
- ・活性化は必要と思いますが、財政の立て直しをまず行うべきだと思います。

（５）飲食店等が必要という意見（３８通）

- ・見て楽しめるような素敵なお店、いろんな美味しい物が食べられるお店があったら、若い人達も集ってくるのではないのでしょうか。
- ・駅前商店街に焼き肉ストリートをつくり、遠方からも集客をしてはどうでしょうか。
- ・もっと駅前に若者向けの店をつくってほしい。ファーストフード店がほしい。服屋とか雑貨屋とか。もっとにぎやかだったら行きたいと思うようになる。

- ・駅近くということもあり、電車の待ち時間を利用できる、ファーストフード、コーヒーショップ等若者が入れる様な所を作ってもらいたい。

(6) バス等交通網に関する意見（32通）

- ・高齢化社会になって交通の不便が気になります。鈴の音バスは一部地域にしかありません。今後、少子化も進み人口が増加するとは考えにくいです。時代にあった活性化を希望します。
- ・鈴の音バスのようなバス網を網羅して気軽に市内アチコチに行けるようなバス網を充実させて欲しい。
- ・駅を中心に広範囲に、しかも機能的に（市民が望む）移動が可能な街づくりが必要であり、少子高齢化の時代を迎え、路線バスの充実（市の財政措置）は急務

(7) 計画は無理、不要、無駄という意見（27通）

- ・松阪駅西地区市街地再開発事業について、このような事に約94億円ものお金を使うなどという事はぜひともやめていただきたい。
- ・中心市街地活性化を進めていっても郊外に大型化ショッピングセンター、住宅地があり、昔のように中心市街地が活性化するのは無理な気がする。

(8) 箱物は不要という意見（24通）

- ・財政難の中、公費を使ってハコモノを作らなくてもよいと思います。もっと他に福祉・教育に力を入れてほしい。
- ・駅前周辺を開発するのは時代遅れ、借金が増えない開発をすべき（箱モノ反対）。
- ・最近の県下都市の駅前開発について成功例はなくハコモノを伴う整備は負債が残るのみで行うべきでない。

(9) 駅周辺以外の政策を望む意見（23通）

- ・同じように松阪市税を払っているのですから、中心地以外の所も平等に力を入れて考えて頂きたいです。
- ・市街地ばかりでなく郊外にも目をむけてほしい。

(10) 開発以外の政策を望む意見（22通）

- ・松阪が「観光立市」であるならば、松阪城跡から三井家跡にかけての整備に税金をかけた方がよいと思う。全国に誇れる観光・歴史の資源と信ずる。
- ・松阪市の財政を福祉、教育費に使用すべきである。福祉の町、教育の町として再生すべきである。
- ・松阪駅中心のことばかりでなく、旧町のことにも目をむけてほしい。若い人の職場の確保等に力を入れてほしい。

(11) 道路の整備等に関する意見（15通）

- ・中心市街地再開発を構想するなら車社会の現在交通網の充実を計り中心となるべき松阪市役所及び松阪駅を中心とした行政と商業、住民の生活を考えるべきだと思います。
- ・松阪駅の東口から西口に向かう直接の道路がないので不便です。地下道など、車ですぐ駅前の方へ行ける道を作ってほしいです。

(12) 公共施設や病院等が必要という意見（16通）

- ・高齢化に向け集合住宅を増やし、市役所の出張所、図書館、病院、郵便局等を設置
- ・総合施設をつくり商業関係、公共施設、福祉施設、医療施設、文化施設、乳児や幼児を連れた親子、高齢者の憩い場所が必要である。

(13) 公園を望む意見（14通）

- ・街中にもっと緑をふやし、人々が休息できる場所をもっと作ってほしい。
- ・中心地に子供と一緒に遊べる広場や公園があるといいです。松阪市の中心部の公園をもっと整備してほしいです。
- ・松阪らしい憩いのある公園整備や地域の文化や自然を体感できるような公園や文化施設の整備を望む。

(14) 商店街の経営者に関する意見（10通）

- ・市の中心街に店を構えるお店の方一人一人の活性化へのやる気、意欲が市中心街の発展の鍵を握っていると思います。各お店の方が市民に喜ばれるような品物を提供すれば自然と足が向くと思います。
- ・店の人たちの対応があまりよくなく魅力的でない。印象がよくなければ次に来ようと思わないのは当然のことで、さびれてゆくのも必然のことだと思う。
- ・商店街のお店の対応に好感を持ってないということ。お客を待たせても「お待たせしました」の一言もなく、「おもてなし」を掲げていることに違和感を感じた。観光客を招きたいのであれば、まずそのあたりを今一度、考えてみては。

(15) 駅前が暗くて危険を感じるという意見（5通）

- ・現状の駅周辺は人気がなくさみしい、ゆえに夜（特に深夜）は危険と思われるくらいで、観光客はおろか、住民でさえ一人歩きは出来ないと思う。
- ・夜遅く松阪駅に着くと駐車場までの道が暗く、人通りもなく怖い。
- ・夜は店も少なく歩いて帰宅するのが1人だと怖い。もう少し明るくならないものかと思う。

以上

3 中心市街地市民意見聴取会

(1) 第1回中心市街地市民意見聴取会

■日 時：平成21年9月6日（日） 午後1時30分から午後4時15分

■場 所：松阪市産業振興センター3F

■アドバイザー：芹澤高斉氏(三重中京大学准教授)

岩田俊二氏（三重短期大学教授）

中谷 泰氏（中心市街地商業活性化アドバイザー）

■松阪市：山中市長、稲垣建設部長、村田商工観光部長、中山まちづくり統括担当参事、
牧戸文化担当参事、長野中心市街地活性化室長

■松阪商工会議所：高畑専務理事

■参加者：128名

■テーマ：松阪駅を中心とするまちづくり

■意見聴取会の趣旨

- ・松阪市全体のまちづくりを考えながら、松阪駅を中心とした中心市街地のあり方について、市民の皆さまや専門家の方から、ご意見をお伺いし、皆さまとともに中心市街地のあり方について考えていくことを趣旨とします。

■意見聴取会で出た主な意見

- ・交通アクセス、歴史文化を活かした魅力ある地域に！
 - ・駅周辺市街地の役割と活性化の目的を明確に！
 - ・中心市街地の衰退傾向に逆行しても良くない！
 - ・既存のものを活用すべきである！
 - ・“おもてなしの心” これを育むことが大事！
 - ・集客の目玉が無いと活性化はしない！
⇒商業施設、複合施設、テーマパーク、銭湯、市役所、市民活動センター、アンテナショップ等
 - ・子供たちに自信をもって譲れるまちをつくる！
 - ・“松阪牛”その魅力を最大限に活かすべき！
 - ・まちづくりのコンセプトは「歴史のまち まつさか」で！
 - ・松阪の中心・玄関として楽しく・住・食・買物・娯楽ができるまちに！
 - ・B級グルメ、屋台村など有名な所を集め、映画館、ダンスホール、スーパー銭湯などをつくり、集客アップを図る！
 - ・駅前の景観を良くすることを考えるべき！
 - ・駅前に駐車場が不足しているので、駐車場や駐輪場を確保してほしい！
- 【松阪駅を中心とするまちづくり】についての質問
- ・松阪駅を中心とした市街地整備に行政が取り組むことは必要であるとお考えの方、また、ある程度の公的資金の投資は必要であるとお考えの方が多数でした。



(2) 第2回中心市街地市民意見聴取会

■日 時：平成21年10月24日（土） 午後1時30分から午後5時15分

■場 所：松阪市産業振興センター3F

■アドバイザー：芹澤高斉氏(三重中京大学准教授)

岩田俊二氏（三重短期大学教授）

浅野 聡氏（三重大学准教授）

中谷 泰氏（中心市街地商業活性化アドバイザー）

■三重大学院生：神谷悠実氏、小池道宏氏、原郭二氏

■松阪市：山中市長、稲垣建設部長、村田商工観光部長、中山まちづくり統括担当参事、
牧戸文化担当参事、長野中心市街地活性化室長

■松阪商工会議所：高畑専務理事

■参加者：110名

■テーマ：中心市街地のまちなみ整備と松阪駅周辺の整備

■意見聴取会の趣旨

- ・松阪市全体のまちづくりを考えながら、松阪駅を中心とした中心市街地の整備を行うために、市民の皆さまや専門家の方から、ご意見をお伺いし、中心市街地活性化を目的とした市街地整備のあり方を検討する。特に、第2回意見聴取会では、居住環境の向上と歴史文化を活かしたまちなみ整備や松阪駅西地区市街地再開発事業区域、松阪駅前広場、三交百貨店跡地、駅前通りといった松阪駅周辺の整備について意見聴取を行うことを趣旨とします。

■松阪市の今後のビジョンのあり方について提案（市長）

- ・松阪市の今後のビジョンのあり方として「食と歴史のまち」というテーマを提示させていただきたいと思います。「食」に対して愛情をもち、「歴史」に対して愛情をもち、そして、松阪のまちづくりに対して「愛着」を持ち、「食べ物を感じ、歴史を語れる」そういうまちづくりを、行政と市民の方々全体で頑張っていきたいと思っています。

■意見聴取会で出た主なご意見

- ・中心市街地を「松阪駅前ゾーン」「商業ゾーン」「松阪商人・商家ゾーン」「松阪城周辺ゾーン」の4つのゾーンに区分し、それぞれの地域の特性を活かした“まちづくり”を行う。
- ・すじ違い、まちなみ、松阪城の石垣、松阪木綿、おもてなしの心、松阪牛などが松阪のイメージであり、それらを来訪者へPRする！
- ・幹線道路沿いでの誘導看板や主要施設における案内看板の整備を行い、松阪に来たというイメージアップを行う！
- ・バスターミナルの整備など歴史・観光資源への交通アクセスが重要！
- ・車での来訪者のための駐車場の整備！（市営駐車場の拡大、松阪駅前の駐車場の整備）
- ・松阪のイメージとして、松阪木綿でトータルコーディネートを行い統一感を持たせる！



- ・地元住民が住みやすいまちを目指すべき！（基盤整備）
- ・駅前整備は、松阪駅前、三交跡地、駅西再開発事業区域を一体として検討すべき！
- ・駅前には公園、広場、遊歩道の整備が必要！また、土産物店、飲食施設、商業施設、会議ができる公共施設が必要！

■【松阪駅西地区市街地再開発事業】についての質問

- ・現在、都市計画決定がなされている「松阪駅西地区市街地再開発事業」は、行うべきでないという意見が多く、現計画にこだわらず市街地再開発事業は行うべきであるという意見が多数でした。

（３） 第３回中心市街地市民意見聴取会

■日 時：平成２１年１２月５日（土） 午後１時３０分から午後４時３０分

■場 所：松阪市産業振興センター３Ｆ

■アドバイザー：芹澤高斉氏（三重中京大学准教授）

岩田俊二氏（三重短期大学教授）

中谷 泰氏（中心市街地商業活性化アドバイザー）

■松阪市：山中市長、稲垣建設部長、村田商工観光部長、中山まちづくり統括担当参事、牧戸文化担当参事、長野中心市街地活性化室長

■松阪商工会議所：高畑専務理事

■参 加 者：１００名

■テーマ：中心市街地の整備イメージについて

■意見聴取会の趣旨

- ・第３回意見聴取会では、これまでの意見聴取会で皆様から頂いたご意見等をもとに作成した中心市街地整備イメージについて、会場の皆様からご意見をお聴きます。

■整備イメージについて提案：山中市長

- ・松阪のテーマとして、「食を感じよう」「歴史を温めよう」「人の心をつなげよう」という事をテーマに掲げてやってきました。主題としては４点に分けさせて頂きました。
- ・１点目は、歴史、文化、豪商の町を語り継ぐという「歴史の物語を温めるまちづくり」を目指すという点でございます。
- ・２点目は、２１世紀の松阪の「楽市楽座」という形で、賑わい活力のある商店街を目指すという点でございます。
- ・３点目は、日本一のグルメタウンを感じようということで、「松阪グルメを感じさせる食の魅力づくり」です。
- ・４点目は、「集い・ふれ合い“松阪駅”」ということで、松阪駅周辺のリニューアルです。



■「松阪まちなか再生プラン（案）」の説明

●中心市街地の再生に向けた考え方⇒「食」を感じ「歴史」を温めるまちへ！

- ・松阪の「食」と「歴史」を活かした、まちなみ整備・情報発信を行い、『松阪の顔』となる中心市街地をつくる。

●中心市街地の再生に向けた4つの取り組み

◆【取り組み①】⇒《歴史》“氏郷”と“豪商”のまちを語り継ぐ ～歴史の物語を温めるまちづくり～

- ・「松阪城跡」を中核とした「物語」を発信できるまちづくり！
- ・蒲生氏郷の「大河ドラマ」化に向けた官民一体の取り組み！
- ・「御城番屋敷」「原田二郎旧宅」の改修と観光戦略との連携！
- ・松阪の歴史を歩いて感じられるまちづくり！
- ・歴史や松阪らしさを感じさせる統一サインの設置とイメージアップ！
- ・魅力的な町並み保全を図る景観ルールづくりと修景整備！
- ・観光客向けの駐車場の整備を検討！観光案内の充実を図る！
- ・伊勢志摩へ向かう道中の「立ち寄り観光」の推進！

◆取り組み②⇒《商業》来て・見て・買って21世紀の「楽市楽座」 ～賑わい活力のある元気な商店街づくり～

- ・空き店舗対策と商店街機能の集積を図る！
- ・アンテナショップなどにより、松阪、南三重の地域物産等の販売推進！
- ・松阪商人らしく、消費者ニーズに対応した販売促進を行い、人を呼ぶ個店の強化を図る！
- ・定期的に朝市（まちなか楽市）やワゴン屋台、フリーマーケットなどの開催！
- ・「おもてなし処」の充実！
- ・松阪の「食」を楽しんでもらうための環境、情報、商品などを充実し、メディアなども活用したPR！

◆取り組み③⇒《食》日本一のグルメタウンを感じよう ～松阪グルメを感じさせる食の魅力づくり～

- ・「ご当地グルメ」のポスターやマップを作り、まちの魅力、情報を売り込む！
- ・松阪の「食」を利用したオリジナル商品の開発と販売促進！
- ・「食べ歩きマップ」などを作成しサービス向上を図る！
- ・B級グルメの開発と「B1グランプリ」への出場を目指す！

◆取り組み④⇒《駅》集い・ふれ合い“松阪駅” ～松阪駅周辺のリニューアル～

- ・ユニバーサルデザインに配慮した「駅前広場のリニューアル」！
- ・松阪駅西地区市街地再開発事業の都市計画決定を外し、民間開発による土地利用を図り、市有地の活用については再検討する！
- ・鎌田踏切のアンダーパス化を行い、中心市街地へのアクセスの向上を図る。（松阪公園大口線街路整備事業の推進）

■「松阪まちなか再生プラン（案）」に対する主な意見

- ・取り組みについては、優先順位を定めて考えていくことが必要！他にも誰が行うのかも明確にすることが必要！
- ・事業実施には費用が発生する。市民ファンド等の市民が協力する仕組みづくりや民間活力、PFIなどの検討が必要！
- ・市民が観光客へ道案内できるようになるなど、本市の歴史や文化の学習も必要！
- ・蒲生氏郷以外の歴史的人物（服部、古田）や紀州藩も強調することが必要！
- ・商店街の中の空き地を地域や観光客のための施設として利用する！（公園や緑化）
- ・空き店舗を地域の交流の場とし活用する！（ギャラリーとして利用）
- ・住民（生活者）の視点が大切だと強く感じます！



■「松阪まちなか再生プラン（案）」について

- ・「松阪まちなか再生プラン（案）」については、概ね賛成という意見でした。

■松阪駅西地区市街地再開発事業についての主な意見

- ・松阪駅西地区の市有地は、公共性を持たせた土地利用を考えるべきである。
- ・都市計画決定を外すことで残された私有地が乱開発されないだろうかと懸念がある。
- ・駅前には「まちの顔」であり、都市計画決定を外すにしても、地区計画といった手法も考えられるので、今後も市の関与は必要だと考える。
- ・駅西地区再開発には、市は一切かわらず、民間主導で進めてはどうか。乱開発になるのでは。という懸念もあるが、公序良俗に反しない限り、どうこういうべきではない。

■松阪駅西地区市街地再開発事業について

- ・都市計画決定を外すことに関して反対者はありませんでした。

■中心市街地市民意見聴取会を終えて：山中市長

- ・確定していない計画の段階で多くの方々から意見を頂けたこと、また、頂いた意見を計画に反映できることに関して、有意義であると思っています。議論いただいたご意見をもとに、持ち帰って整理させていただき、改めて「まちなか再生プラン」とさせていただきたいと思っています。今後とも、皆さんと共につくっていくまちづくりを考えていきたいと思っています。

松阪まちなか再生プラン
『食』を感じよう！ 『歴史』を温めよう！！
そして、『人の心』をつなげよう！！
～ *Feel food Heat history and Link love* ～

平成 22 年 3 月

発行	松阪市	
	〒515-8515 三重県松阪市殿町 1340-1	
編集	松阪市建設部都市計画課	TEL 0598-53-4158
	松阪市商工観光部商工観光課	TEL 0598-53-4361
	松阪市教育委員会文化課	TEL 0598-53-4428